英選擧運動猛烈
自由黨聯立内閣組織を希望

【倫敦十四日發】倫敦にては大旋風の如き選擧運動開始されたるが政爭の中心は關税問題である自由黨派は多數を獲得する事は出來ないと信じてはゐるが保護黨を驅逐する事には全力を集中し且つ勞働黨と聯立内閣を組織する事を望んでゐる一方勞働黨は聯立不可能を唱へ居るも結局は聯立を肯んずるであらう

故國に歸るを喜ぶ
前獨皇太子新聞通信員を引見

【エールス十四日發電】前獨逸皇太子はエールス城に獨逸新聞通信員を引見し「政治問題に付いては一切質問しないでくれる唯故に再び故國に歸つたことを最大の喜びとする」と語つた

極東露國に單一税
減免税の規定も設けてゐる

【浦鹽電報】勞農露國財政部は最近極東露領地方に對しても農村單一税及び牧畜税に關する法律を施行し民心の緩和と税務の統一とを圖る事としたが農村單一税は各個の生活程度と家族の多數とを標準として九種に分ち家畜の種類と年齡とに應じて四種に分ち又農作地の肥瘠を標準として十二階級を設け尚ほ特別に減免税の規定もあつて其家族が陸海軍、勞農國家政府、保安局に服務中の者にも減税の恩典が與へられてゐる

露支會議と張氏

【奉天十五日發電】露支會議は遂に不成立に終つたが最近張總司令と露國と會議が開會せらるゝ樣に傳へられて居る最近特別行政長官朱將軍と露國天交渉署長蔡運升氏は會議に就き意見を交換し大體意見一致したので左の箇條に就き協議し之れを首腦會議に諮り決定する模樣である

一、中露國境の整理
二、露國駐劄軍隊撤退
三、在露中の中國人虐待、特別課税全廢
四、不逞鮮人東三省國境侵入禁止
五、東三省内露國避難民引渡
六、滿洲里の關税改正
七、結局部の通商
八、中東鐵路附屬地を支那に還付
九、黑龍江、松花江、の航行權及森林漁業權

東三省に自治計畫

【奉天十五日發電】東三省自治計畫は汲々として進行し將に實行に着手せんとして居るが聞く處に依れば從來の道尹を廢して各縣に徴税する役所を設けて新人をして縣長と爲す等で其旨各縣議員に通知を發したと

定例閣議内容

【東京電報】十六日の定例閣議は午前十時より首相官邸に開會後藤内相より帝都復興計畫案についての評議會の結果を報告し當面の重要政務につき協議を爲し正午散會した

武器製造會社設置

【奉天電報】元米國領事ペツカー氏は張學良氏と合資にて奉天に資本金百萬圓の武器製造會社を設置する事となり目下計畫を進めて居る

新政黨計畫には
加藤子も反對すまい

【東京電報】新政黨組織計畫には憲政會側においても漸く之が參加に決せる者多き如く臨時議會切迫に從つて具體化する狀況であるが某閣近者の云ふ處に依れば加藤總裁は必ずしも之に反對せず大勢に順應し黨員の行動に干渉せない方針であると

火保支拂問題
司法上の研究開始

【東京電報】火保支拂問題は漸く見舞金一割支出に落着する模樣であるが之が實際支拂ひに關し當業者は訴訟提出を抑止する事につき當局に求める希望あり更に當局は混亂の際大多數權利者の保險證券を紛失或は被保險者一家全滅等の爲め困難なる法律問題を生ずべく當業者の行動を悉く誠意あるものとも感ぜられざるべきに依り目下之が解決に關する司法上の研究を爲しつゝある

八幡製鐵所擴張案決定

【福岡電報】八幡製鐵所は財界不振の事情に鑑み一時事業の縮少を計れるが這回の震災に依り復興材料製造の爲擴張方針を取る事として其成案も既に決定したと云ふ

木綿織物業者生産減少申合

【大阪電報】大阪府下泉南、泉北兩郡地方の木綿織物業者は關東方面の震災にて木綿物の需要が增加した爲め一時は蘇生の思ひをしたが其後需要減少し收支相償はぬので此の際全部團結し生產を極度に減少する申合せを爲し實行に入る筈である

外糖漸騰内地糖續落

【大阪電報】瓜哇、玖馬糖は漸次騰貴し近く熟狂相場を現さんとしてゐるに反し内地は端境期に入り

官吏が内職に密輸
一挺の拳銃で十數圓儲かる

[illegible]調べた所に依ると大部分は[illegible]員が不[illegible]の爲め之を内職とする[illegible]もので小型拳銃一挺七、八圓大型[illegible]一挺十七八圓の手數料がとれるの[illegible]の職に失ぎに犯罪者が續[illegible]され多くの場合同一の犯罪を數々[illegible]所の警察で聞く犯罪を追ひ瞞して[illegible]ることが多いと[illegible]

バラツク村に牛飯を漁る
市民大會委員

東京は旅館不足で上京者は何れも閉口してゐる帝國ホテルには一千二百名の宿泊者がある市民大會の四委員の如き[illegible]ホテルの如きは少くも十二三日前に申込んで置かなければ到底室を得る事が出來ないと

時計を盗んで

[illegible]方店舗[illegible]谷常雄[illegible]は十五日午後七時半頃[illegible]人[illegible]から自殺せんとした所を[illegible]行人に發見され[illegible]出所に[illegible]

馬賊三百名

[illegible]したのだと云ふが本人の行[illegible]現れ[illegible]なるが臨同知事は[illegible]成立すると は奉天省長に援兵方を乞うた(安東電)

朝鮮機業狀況(一)
其の現在及び將來

朝鮮機業の現在及將來に就いて見るに其以前に於いて先づ大正十一年工產表の中にて價額一千萬圓以上のものを列擧すれば左の如くである。

	圓
釀造品	四五七〇四、三八三
織物	二二四八八、五六〇
布帛製品	二一五九三、七〇一
莨製品	二〇三四[illegible]、三三一
煙草	二〇三二九、〇七〇
金屬製品	一六三九一、七七五
窯業製品	一四一三一、一二七
穀粉	一〇四五二、九八二

即ち織物は第二位に居り重要工產品なるを認むる。然らばこの重要工產品を生產する朝鮮の機業は、鮮内需要の織物を供給する上に何程の貢獻をなしつゝあるか、大正十一年統計の示す所左表の如し。

(單位圓)

品種	輸移入	鮮内生產
綿布	[illegible]	[illegible]
麻布	[illegible]	[illegible]
絹布	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

即ち朝鮮需要織物の七割は之れを輸移入に仰ぎ、三割を自給するのである。換言すれば朝鮮の織物市場は其大部分を輸移入品に占領せられ、朝鮮生產品は僅に一隅を保つに過ぎない。往古に在つて朝鮮より機業を日本に傳へたる程なれば織機技術も相當に進んで居たことであらう。又其氣候風土は機業原料なる棉花、麻類の生育に都合よく又蠶業にも適すれば[illegible]今日に於て日本と同じく織物生產國となるべきに、種々の事情の爲め其發達を妨げられ織物は依然として原始的の小規模且粗惡なる家業機業によりて生產せられ、近代工業の精華なる工場生產機業の織は微々として振はず、其の生產小なるを以て鮮内需要に對し其一部を供給するに過ぎない。或は鮮内生產價額二千二百餘萬圓の中百萬圓內外のものが工場生產に係り其他は悉く家業的の生產なるを想はゞ、以て朝鮮機業の狀態を察すべきである。

工業界の現勢は小規模の家內工業を衰微せしめて、大規模の工場に於て家內工業品を生產せしめつゝあり、市場に於て家內工業品は漸次撤退して、工場製品之に代るは免るべからざることである。朝鮮も五六十年前に在つては其の需要する工業品は大部分は家內工業によりて供給せられたりしならんも、爾後外國貿易開くるや工場工業の生產品が輸入せられ、其價格の低廉なると其品質の優良なるとの爲に、在來鮮內生產品は漸く驅逐せらるゝに至つた。即ち織物に於いて其供給が輸移入品に凌駕され鮮內生產三の割合なることは、輸移入品市場侵略の形勢を示すものと云はなければならぬ。

然らば朝鮮の織物機業は、此工業大勢の赴く所、隨つて衰頹滅亡に至るべきか。僅々數十年間に於て七對三の悲境に沈淪せるよりして考ふれば、其餘命幾何もなしと斷ずべきが如きも、一方此の二千萬圓內外の鮮內生產が、此の數年間に大なる消長なくして安定せるが如き狀態を示すことは、既業の衰勢は其極度に達して停止し、更に反動的恢復を見ずとするも、其製品が現在占據する市場の一隅は、其根基堅固にして永く維持されるものらしい。

補充金增額と事業費
緊急事業は事業費を以て繼續に決定
攝政宮殿下朝鮮開發につき御心を注がせ給ふ
歸任の途 有吉政務總監語る

【東京支局特電】總督府來年度豫算につき中央政府と折衝を重ねつゝあり有吉政務總監は十六日午前九時半東京發途中京都に下車し先考の墓に詣で赴任すべきが往訪の記者に語りて曰く「過般政務の爲め上京し攝政宮殿下に拜謁を賜はつたが殿下には御健康彌や增し御機嫌麗しく拜したのは洵に慶賀に堪へぬ次第である其際殿下には特に朝鮮の近狀就中產業の開發に就き種々御下問を賜はつたが殿下が朝鮮の開發に御心を注がせられ給ふは感激に堪へぬ次第である大ぎに朝鮮の經營を他の特別會計を有する地方の經營と同一視して貰つては困るとは自分の常に主張するところであるが幸ひにも山本首相、井上藏相其他の閣僚に於ても朝鮮の現狀に就て相當の理解と深き同情とを有せられ明年度豫算の補充金も本年度と同樣千五百六十萬圓の外に百廿萬圓程度の增額即ち約二千萬圓を得ることになつた、尤も公債事業は他の地方と同樣に打切る事となり從つて鐵道の敷設工事等に影響を來すことゝなるが已むを得ざるものは事業費として得たる一千萬圓を以て繼續することゝなつた近時朝鮮の現狀に就き各方面の人士から種々の質問を受けたが右につき自分は去る十四日華族會館に於ける貴族院議員の午餐會に出席し朝鮮の現狀につき詳細說明して置いた」

近海配船不足

鮮米移出期に入つて以來近海航路は船腹頗る缺乏の爲め活況を呈してゐる

朝鮮棉作と紡織(上)
尚ほ一層の改善を要す

朝鮮の棉作と紡織に就き當局者は左の如く語る

現今、織布は鮮內各地到る處に產出し就中、全南、慶尚南北道、平安道、黃海道及び京畿道の產出最も多く、其年額六乃至七百萬反あつて機業は農家婦女子の副業的產物であつて棉花を手紡し居織機を用ひた平織白木綿の粗なるものである一口に朝鮮といふも棉作又紡織狀況から見ると南北で大に趣きを異にする、例といつても棉作が西北鮮に古くから發達したゞけあつて機作の技術でも紡織の手際でも南鮮は西北鮮に較べて遙に劣つて居る南鮮は西北鮮に較べて紡織に適する陸地棉が生產せられ、地木綿は其れを原料とするに拘はらず、比較的紡織に適さない在來棉を用ひて織出す西北鮮の地木綿には到底及ばない。これは面白い事實であつて、全南の高興綿布よりも慶北の義城木綿の方が好いといふことになる。之を其數的に示すと左の通りである。地木綿の長さ幅は各地一定して居ないので一定面積の布に對する重量を比較するに苦しむが、假りに長さ五〇尺幅一尺のものに換算して比べて見ると左の通りになる。

道名	長	幅	重量
全南	四九尺	〇、九〇尺	四、〇斤
全北	四一	〇、九〇	二、一
慶南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠南	五三	〇、九五	[illegible]
忠北	四九	〇、九〇	[illegible]
京畿	五五	〇、九三	[illegible]
黃海	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平北	五八	一、〇〇	[illegible]

勿論糊付の多少もあり、一概に數字から優劣を推し得ないが、右表中の主要棉作地たる全南、慶北、平南の地木綿の重量を比較して見ると、南鮮の方が先づ正しいことがわかる。道によつては既に內地から新式機を用ひ、紡績綿が移入使用されてるから、此表は一の參考資料たるに止まる。然しこれを一括して云へば十數年前內外の手紡綿を用ひた原始的に近い地木綿であつて、朝鮮の民度に適したものと云へよう。それは地木綿一疋を織上るに手間女一二人四、(打綿〇人五、繰綿七人準備作業二人機織二人五)を要するのみであるのでもわかる。

ヨシアシ

◇成鏡線の工事中止ときた、コレで勞働者と請負業者の失業者が出來る譯だ。

◇東業公債の打切りで京城驛工事の一年繰延べを行つた、經費節減で列車が午砲を止めたと同じことだ

◇公債は發行せんでも公債事業は行る、ロジツクに合はんやうだが錯誤しては困る。

◇今年位にエライ編成難の總督府豫算は無いソウだ、然し今年位削減されて各局が納得した豫算も無いソウだ。

◇朝鮮も紡織鮮人だけで會社の一つも經營が出來るやうにならなければ駄目々々。

◇こんどの領事會議は在滿鮮人の支那歸化問題と商租權問題に就て講究するソウだ、いゝ問題だ

大阪市場警戒

大阪市況は一向に活氣なく又東京方面の震災の爲め販路の入らない東京市場の狀況も大した形勢の變化がないと見られてゐる一方市況の不振と共に惡材料が現れ易く目下大阪市場の事情としては賣方に味方する材料多く前途尙樂觀さるゝ一面悲觀の人氣も擡頭し來りし振合ひ警戒人氣に陷つて來たやうである、十六日後場新田仲買店に入つた大阪の情報に依ると『米不作に因る米價高と外米輸入とは生ずるときは總數に於いて五割七厘の減少となるがこれは浦鹽線閉鎖に依る爲めなりと』

商議山上委員歸期

商業會議所聯合會東上委員釘本、福島、吉田の三會頭及德野平壤書記長は來る二十日頃歸鮮の途に就くべく大村書記長は之に先ち十二日東京發途中大阪に立寄り二十日頃歸城する筈

外國電報減少

十月中京城郵便局取扱外國電報通數は發信四百六十二通着信五百六十二通中繼信三千四百九十通合計四千百十四通なるが之を昨年同日と比較すると[illegible]

府內幹線道路
補裝工事進捗

京城府內幹線道路の補裝工事は豫定の如く本月末を以て終了する事になり更に十三年度は四月より京城を通じて施工する筈である

郵便貯金增加

遞信局郵便貯金管理所調查に依る本年十月末現在郵便貯金及振替貯金狀況は次ぎの如くにして前年同日に比し全般に增加せるが特に金額よりも人員に於て增加を見た

▲人員 郵便貯金一、六〇九、七〇一人前年同期に比し增三八、〇[illegible]振替貯金一二、一三[illegible]人前年同期に比し增九三人

▲金額 郵便貯金二〇、一〇三、[illegible]圓前年同期に比し增[illegible]振替貯金一、八八九[illegible]前年同期に比し增[illegible]

小商人金融難

京城に於ける歲末金融は內地の大震災に關聯して無理な經過を豫想されてゐるが最近小資本の金融難は益々加はり之が金融を無盡及び個人方面に求むる者續增の狀態である某所調查に依ると目下の個人金利は日步十五錢乃至五十錢、無盡の落札步合は年二割以上三割に達すると

米價目先如何

米價の前途に就いては朝鮮內各道で好記錄を呈するだらうから鮮米も是等の結果之れが補充として外米の輸入增加を見るべく旦つ前年以上の移出增加を見るべく內地市場に於て著しく鮮米の需要を認められて來たので年內一杯は價を保つも現在以上の相場を維持し難しい下値は出まいと當業者は觀測してゐる

內地決濟順調

諸品需要期に入り內地送金制限の爲め大阪方面より荷爲替取組は順調を缺いてゐたが最近鮮米移出增加と共に內地との決濟が好都合となり大口の荷爲替取組にも何等の支障を來さぬ事となつた、併し不況で地方の購買力が依然不振を極めてゐるので目先取引界の著しき景氣は出まいと觀測されてゐる

北滿材輸出は絕望
遠く米國材に壓倒される

日本の現在木材は大約四十年を以て伐採し盡されるので外國材を輸入せねばならぬ現に日本の輸入木材は年額一億圓以上にして日本の材料のみでも數百萬圓に上つて居るのであるから非常な數量で距離の近い滿洲から日本に輸入されるのであるが日本の大震災後其復舊の爲め大計畫を立てゝ居た當地の木材業者は詳細に日本の市場の實情等を調查した所即ち日本は木材を米國から輸入するが太平洋を橫斷して來る米國材は日本着一立方呎九十錢內外であるに北滿からでは如何に努力しても日本着一圓三十錢となる其上材質に於ても比較にならない程劣等で數量も現在では日本の需用を充し得ない日本の木材需用は約一億立方呎であるに北滿材は總計で五百萬立方呎を輸出し得るに過ぎない森林は豐富であるが若し日本の全需用に應ずる輸出を爲すとすれば價格は現在に比して倍加するだらうと云ふから見ると北滿の木材業者は幾多の研究を輸出に費す必要がある樣で現在の如き原始的方法では發展の見込が無いと

朝鮮貿易
客月對內地狀況

十月中朝鮮對內地貿易額は移出一千四百六十萬餘圓、移入一千五百五十八萬餘圓合計三千[illegible]萬餘圓で、前年同月に比し移出四百七十餘萬圓、移入三百七十一萬餘圓の增進を告げた而して一月以降累計額は移出一億七千四百三萬餘圓、移入一億三千三百九十九萬餘圓、合計三億[illegible]二萬餘圓で移出超過四千三百萬餘圓を計上し、前年同期との比較に於て移出二千二百三十萬餘圓、移入三百八十二萬餘圓、合計二千六百十二萬餘圓を增進し出超額亦倍加して居る

今本月中重要品の狀況を前年同月と比較するに、移出にありては葉煙草、綿絲、黑鉛、石炭「パルプ」等の諸品前月に引續き出荷減退し且鐵の減額六十三萬圓は出荷更に股盛を加へて百八十四萬餘圓を算するに至つた、併し米は好調で兩者合計七十八萬餘圓を增加し、大豆、魚類、金鑛、此等朝鮮の外地移入滿洲產品なる豆粕も前月は極めて不振であつたが本月は比較的多數の出荷ありしため肥料に於て五十九萬餘圓の增大を告げた

次に移入では大多數の貨物何れも好況を呈し、就中被服料品は唯生金巾類に少許の減少を示したのみで、繰綿及打綿、綿絲、並綿毛布を併せ百四十一萬餘圓を增進し食料品に於ては外米小麥粉の二品の增加計二十五萬

財界は越年後復活か
米穀出廻で農村も潤ふだらう

本年の朝鮮財界は遲緩ながら徹頭徹尾不況である地方の金融は昨秋米の收穫期に際し米の值段が安く決濟及び稅金納入に相當苦しんだのであるが本春に至り米價は多少持直して來たけれ共這は地主に取つては好都合であつたけれども一般農民には

既に米の處分後

とて何等效果がなく其後一般財界の不景氣に連れ地方の財界も不況と來たへ關東大震災で地方金融は益々硬塞するに至つたのである昨今米の值も多少出て來た樣である が今日迄の枯渴が相當激しいから急に財界の好化を見る事も出來ない又商人に於ても地方農民の財力が薄い爲め賣行き不良で年末の如きは甚だ面白からぬ狀態であるが此の分では此の年末の財界は良好とは想へぬ、然しながら本秋の米は昨年同期よりも相當高くなつてゐるから昨年程農民が困る事はあるまい、其他朝鮮では關東の震災も二千萬圓近くの年產がある棉花も一億二三千萬斤の收穫がある等地方民も稍息を緊く事になるのである、最も朝鮮の財界は前述の如く產物の關係の外內地財界の影響を受ける事勿論であるが內地の金融さへ緩漫となれば從つて朝鮮も潤ふ譯である、目下の

內地金融狀態を觀るに東京も大阪も遲々ながら緩漫で預金等も追々殖へて居る從つて社債の發行が夥々現れて來るに至つた、消費地の東京が燒けても生產地たる關西は益々盛んであり復興資金が所要になれば市場に放流されるから金は相當潤澤となる筈へ國家的からは債務が殖へても市場に金が殖へれば政府關係でも民間關係でも更に角朝鮮に資金が流入する事となる、現に總督府豫算の如きも大體要求に近い丈け決定した樣であるし金貸業者も入れば土地の購入者も內地から來る狀態であるから朝鮮としては越年後は相

鮮人協會基金募集

【大阪電報】朝鮮人協會總本部では基金募集の爲め十七、十八の兩日大阪中之島中央公會堂で筑前琵琶、浪花節、長唄、大和屋歌舞等の催し物を爲すべしと

て以來暴落し十六日市場は先物期物二十四圓四十錢と七十錢安保稅物四十錢安精糖現物二十八圓十錢と續落した

浦潮貿易狀況

浦鹽斯德政廳の發表にかゝる本年二月より五月迄の三ケ月迄に於ける浦鹽港貿易總額は六百六十萬五千金留であつて內輸入は三百〇七萬五千金留輸出はか十三萬金留であつて之れを品種別に示せば大ぎの如くである

種別	輸入	輸出
食料品	[illegible]	[illegible]
獸類	[illegible]	[illegible]
木材	[illegible]	[illegible]
陶器	[illegible]	[illegible]
燃料	[illegible]	[illegible]
化學藥品	[illegible]	[illegible]
金屬類	[illegible]	[illegible]
紙類	[illegible]	[illegible]
絲及綿	[illegible]	[illegible]
布類	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

輸入品の主要なるものは食料品で其內麥粉及小麥百分の二七、一砂糖百分の一六、一肉類百分の六、工業品百分の九、一雜入分の六其出入國別は左の如し

國名	輸入	輸出
支那	一、七四四、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇
日本	九二〇、〇〇〇	二、三五八、〇〇〇
英國	八七、〇〇〇	[illegible]
獨逸	[illegible]	[illegible]
米國	[illegible]	[illegible]
和蘭	[illegible]	[illegible]
瑞典	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	
合計	[illegible]	[illegible]

特別取扱郵便物

京城に川釜山大邱平壤及元山市內各局ではその市內に配達すべき全部又は大部分を印刷した特狀及同一內容の新聞雜誌等を同時に百通以上差出す時は市內特別取扱郵便とて約半減せらるゝ便法があるが遞信局の調查に依れば九月まで半年間の取扱數は十八萬九千九百七十一通で前年に比し約三倍の數となてゐる

公會私會

◇司法主任會議終了 十二日より總督府會議室に於いて開會中なりし道內各署司法主任會議は十五日を以て改正刑事訴訟法の講義終り十六日午後一時より金刑事課長臨席司法事務に關し種々打ち合せする所あり午後四時終了した

◇遞信會計課長會議 遞信部內各局會計課長會議は十六日より三日間遞信局にて開催してゐる

◇社會事業研究會 內地震災以來久しく中止の狀態であつた朝鮮社會事業研究會は來る二十日午後六時半から明治町府立圖書館兒童室に於て開催の筈であるが協議事項は(一)京城に於て適切なる社會事業として如何なる施設を急務とするや(二)鮮人にして衣食に困窮するものに與ふる主副業の適當なるものなきや

辭令(總督府)

總督府事務官 佐々木三郎
敍高等官七等(十四日附)
勸業模範場技師 大工原銀太郎
東京府下へ出張を命ず
光州中學校長 佐藤正作
木浦及長城へ出張を命ず
裡里農林學校長 高島正作
全州及南原へ出張を命ず(十五日附)

人事消息

▲川口彥治氏(關東廳事務總長)十六日朝退城
▲川添種一郎氏(鎭南浦商業會議所會頭)十六日夜入城天眞樓へ
▲鳥越久則氏(同副會頭)十六日朝入城不知火へ
、船津總領事 京城に於ける領事會議出席の爲め十八日出發の豫定(奉天特電)
▲溪內弌惠氏(南山本願寺住職)今同本願寺東京地方寺務所長兼淺草別院輪番を命ぜられ不日出發
▲河東碧梧桐氏(俳人)十七日午前九時入城、天眞樓へ
▲西村宗一氏(十八銀行京城支店長)新任挨拶のため十六日官公衙銀行會社歷訪
▲佐藤潤象氏(朝鮮鐵道會社專務)十六日黃海線視察のため出

平壤醫院
ミカド前 電話四二一番

第貳拾四期決算報告書
大正十二年九月卅日
貸借對照表

貸方(負債之部)	
株金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
預り金	[illegible]
借入金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂手形及支拂手形	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

借方(資產之部)	
未拂込株金	[illegible]
所有建物及營造物	[illegible]
機械及什器備品	[illegible]
貯藏原料及製品	[illegible]
未製品及仕掛品	[illegible]
有價證券	[illegible]
販賣店勘定	[illegible]
預ケ金	[illegible]
未收入金及受取手形	[illegible]
單名手形	[illegible]
假拂金	[illegible]
金銀	[illegible]
合計	[illegible]

右之通り候也
大正十二年十一月十五日
朝鮮皮革株式會社

稻葉醫院
平壤本町 電話七〇九番

株券無効公告
一、當社株券[illegible]
[illegible]
右當社株券從來失ノ旨届出有之候ニ付來ル十二月十五日迄ニ故障申出無之トキハ無効トス
大正十二年拾壹月十五日
朝鮮京南鐵道株式會社

當選御禮
今般大邱府商業會議所議員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月
紫垣七郞

當選御禮
今般大邱府商業會議所議員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月
河井朝雄

當選御禮
今般大邱府商業會議所議員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月
若林誠助

當選御禮
今般大邱府商業會議所議員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月
吉田太三

當選御禮
今般大邱府商業會議所議員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月
片倉製絲株式會社 大邱製絲所代表
古田忠衞

當選御禮
今般大邱府商業會議所議員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月
佐藤良平

當選御禮
今般大邱府商業會議所議員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月
濱崎喜三郞

當選御禮
今般大邱府商業會議所議員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月
世良朝吉

「子供は殺さぬ」と申したら森曹長が極力反對した

大杉殺害事件の第二回公判で

甘粕大尉の陳述

夕刊一部所報――甘粕事件の第二回公判は十六日午前九時四十五分第一師團軍法會議に開廷、前回の如く甘粕以下各被告の住所、官氏名、年齢等の訊問ありて山田法務官の控訴事實の陳述があつた、次で法務官は先づ甘粕に對して大杉殺害の動機を質し、甘粕は之に對し無政府主義と社會主義と相容れず其危險なるを述べた、法務官は更に

【問】大杉は何故危險と考へたか

【答】彼等代人を煽動し爆彈を所持してゐると聞いたからです

【問】淀橋署から大杉をヤッつけて異れと云ふ事を聞いたか

【答】森曹長から聞きました

【問】森も大杉を殺すことに同意したか

【答】森曹長も大杉をヤッつけてやると云ひましたから同意したものと思ひます

【問】大杉を連れに行つた時、鴨志田、本多兩上等兵を連れたのは何故か、

【答】大杉方の踏込み其他の用をさせました

【問】野枝と子供を何故に憲兵隊に連れて來たか

【答】野枝は殺す心算でありましたが子供は殺す考へはありませんでした

夫れより殺害の手段に付き第一回同樣の問答を繰返し

【問】大杉を談話中に殺す事を森と打合せたか

【答】打合せました

【問】殺害當時の模樣を問答して

【問】大杉は被告より大きいか小さいか

【答】少し大きくありました

柔道の手で大杉を殺した模樣を問答し更に野枝殺害の顚末を述べ

「私は子供を殺さぬと申しますと森は今になつて夫んな事を云つては墮罪する恐れがあるから子供も殺さねばならぬと申しました」と陳述した

「司令官の命令でなく私の獨斷でやつた」

【問】森は被告の命令に依つて今回の行爲に加はつたのではないか

【答】私が企てを話さなければ森は加はらなかつたでせう

【問】小供を野枝の隣の部屋に連れて來たのは何故か

【問】野枝を殺す所を見せたくなかつたからです

【問】隣室に鴨志田、本多が居たか

【答】居りました

【問】鴨志田は直接被告から小供をも殺せと云ふ命令があつたと云つてゐるが如何か

【答】其の申し立ては間違ひであります

【問】十五日に被告は森に向ひ親指を示し今日行らなければ今後氣嫌が惡いと云つた事はないか

【答】そんな事はありません

【問】森との間に司令官の命令だ等の話はなかつたか

【答】全然私の考へてそんな事はありません

【問】小供は如何なる方法で殺されたかを知つて居るか

【答】知りません、鴨志田と本多の兩名で殺したか或は獨りで殺したかも知りません

夫れより三名の死體を撤棄したる顚末を問答して後「被告は此の行爲に就いて何か考へてゐる事があるか」と問ふ

【答】私は國法は犯さずとも可きものであると考へます、併し國法は時に(電文三字不明)たる事がありますが私は未だ罪さねばならぬ事を考へてゐました、只部下に累を及ぼした事は實に遺憾に堪へぬ事であります

十一時四十五分休憩

「上官の命令だから此事件に加つた」と森の陳述

午後一時引續き開廷森曹長の訊問に入る、すると傍聽席から「森曹長甘粕大尉の心條を知らぬか國士の態度を辱むるな」と叫んだものがあつた法務官は委細構はず取調べを進める

【問】大杉殺害に就て甘粕から如何なる話があつたか

【答】此際後の憂ひをなくする爲め社會主義者を葬り去る必要があると云はれました上官の命令でもあり大尉の決心は堅いのであつたから私も同意しました又警備の情報等も見せられましたが其書類は大杉等をヤッつけなければならぬと云ふ樣なものでありましたが併し漠然たるものでありましたから私は直に淀橋署について大杉の行動を調べました

【問】淀橋署の意嚮では大杉を憲兵の手でヤッつけて貰いたいと云ふたと報告したか

【答】そう具體的には申しません

【問】そう云ふ意味で報告したか

【答】そう解釋されたかも知れません

【問】淀橋署員が明確に云つたのではないのか

【答】明確には申ません

【問】甘粕は特別高等課長として被告の上官ではないと申立てあるがどうか

【答】私は矢張り上官と信じてゐました

問淀橋署との往復について問答があつた

久邇侯爵結納取替せ式

久邇侯爵と島津公令妹知子姫との結婚御内約の事は既報の如くなるが十六日午前結納取替せの式を行はせられた(東京電報)

水死美人は酌婦

失戀の結果の自殺か

十六日朝漢江人道橋附近の淺瀬に廿二の美人の死體がかゝつてゐるのを發見した事は夕刊所報の通りなるが之より先府內花園町飲食店玉川の酌婦原籍廣島縣福山市新町三丁目五十七高崎ミヨ(二二)が二日前無斷家出して行方不明であつて且つ人相及び所持品が似てゐるので玉川の主人に見せると同人なるとが判り死體は樓主へ引渡すとなつた死因は妊娠中であると云へば情夫から見放されて悲觀し死を決したものらしいとの事である

震災で殖えた孤兒達を無報酬で育てゝやりたいと上京した高知縣の野島藥子（五し）さんは寫眞のやうに東京府下澁谷の赤十字社兒童收容所で可憐な孤兒を育てゝゐる

鳴りを靜めて機を窺ふ商議

府議戰の終るを

府協議員の決戰期切迫と共に策戰之努め挑戰的氣分横溢し甦を中原に爭ふの雄々しさに引換へ京城商議評議員の寂として聲なき状勢は聊か物足らぬ感なきにしもあらずだが之は或は山雨將に到らんとして風堂に滿つるの靜寂かも知れず表面靜を裝ふも暗々裡には案外飛躍の氣が漲つて居る樣にも窺はれる、府協議員の選擧落着の曉は猛然として戰鬪を開始するならんとは一般の觀測であるが今徐ろに志氣を蓄つて潔く一戰に及ばんと機を待つ者は左の諸氏である

佐藤平太郎、篠田米三郎、西崎源太郎、林管吉、篠田安之進、陣內茂吉、戶島祐次郎、篠崎半助、增田三穗、高橋章之助、釘本藤次郎、古城龜之助、佐野彥藏、渡邊定一郎、辻木嘉三郎、高井健治、恩田銅吉、畑田明敬、韓相龍

欠

魂の力 (第百十五回)

中川雨之助 作　小寺柳村 畫

夜の路

郊外の、紅葉で客を呼んでゐるある料理屋で、大館と京子とは、夜に入るまで酒を飲んだり飯を食つたりした。その料理屋には家族風呂もあつた。

大館はほろ醉機嫌になつて、獨りでニコ／＼して居た。京子は無理に騒立てやう／＼と焦燥つてみたが、彼女の心は、重石でも括げ附けられてゐるやうに、又しても沈んで行つた。

『おい何うした、默に鬱いでるぢやないか。やつぱり病院の彼の人のことが氣掛りだと見えるね。何しろ表面では、ヤレ彼の人は不實だ。ヤレ厭になつたなぞ、巧いことを並べて置いて、影でコツソリ見舞に出かけやうと云ふんだから、お安く無い譯さ。あツはゝゝゝゝ』

大館は斯んな厭味を言つたりした。併し二千圓の金を紛失したやうな容子は、氣振にも見えなかつた。京子は不思議でならなかつた。今に何か言ひ出されはしないかと思つてピク／＼してゐた彼女の心は、漸く幾分の落着ができて來たかと思ふと、今度は『何う云つて彼の事を言ひ出さうか』といふ心配のために、心が亂られた。

『大分遅くなつた様だ。ソロ／＼歸らうぢや無いか』と、大館が時計を見ながら斯う云つて、婢を呼んで勘定を命じるまで、京子はたう／＼切出すことができなかつた。

『今だ／＼。今切出さなければ、お前は又苦しまなければならないんだ』と、誰かゞ耳元で、囁つやうに私語くかと思つた。で、彼女は思切つて言はふとすると舌の端が痺せられてゐるやうに舌の端が硬ばつて、咽喉が苦しく乾いて何も云ふことができない。然うしてたう／＼機會を取逃がしてしまつた。

その料理屋から、電車まで約四丁ほどあつた。大館は京子と二人でブラ／＼と其の路を歩いた。路の途中に道普請の[illegible]があつたりコンモリとした社の杜があつたりその杜の際に古い溜があつたりした。風の無い、醉顔を吹かれて歩くには快いほどの夜であつた。しかし空一面に、何だか恐ろしいやうに雲が拡がつてゐて、その雲の間から十日ほどの月が、顔を見せたり隠れたりした。

『京子醉ひにほてつた顔に、郊外の空氣が冷やりと觸れて、快い心持だね。その快い心持で、ブラブラ歩きながら、おまへに少し話たいことが有るんだが聞いて呉れるだらうね』

『え、承たまはりますとも』

京子はハツと思ひながら、平氣を粧ほつた。

『外では無いがね。おまへは何時舞妓を罷めて呉れるんだ』

『えツ、私が……ですの？』

『然うさ。お前は東陽館で、僕の頼みを肯いて、廢業して呉れる筈になつてるぢやないか……』

『おほゝゝ御冗談ばつかり……』

『冗談？誰が冗談なんか言つてるものか、眞面目なんだ』

『だつて私は、そんな約束をした覺えは有りませんもの』

『口で約束をしない所が、口約束以上に、堅い約束ができてる筈ぢやないか』

『堅い約束と言ひますと』

『だつてお前は、あの時に、二千圓といふ手附金を受取つたぢやないか』

激しい大きな物音が、不意に耳元に起つて、忽ち全身の知覺を悉く奪つてしまつたかと思ふほど京子は非常な驚きに襲はれた。それと同時に、彼女の兩足はピタリと大地の面へ釘附にされたやうで最早一歩も踏み出すことができなかつた。

大館は二三歩行つてから、京子の立竦んでしまつてゐることに氣が附いて、彼も亦、後を振回りつゝ其處に立止まつた。

そこは丁度、社の杜の前であつた。脚下には暗がくれの溜の水が折柄の月光に凄く光つてゐた。

街の方の空は、微かなる朱の色に燈火に死化されて、電車の響が時々低い遠の雷のやうに聞えて來た。

京日文苑　投稿歡迎

短歌　題『苔』尾上柴舟選
俳句　題『入營』內藤鳴雪選
川柳　題『[illegible]』井上劍花坊選
締切　十一月卅日(各題共)
賞金　天一圓半、地一圓、人半圓
注意　一題一人三句、各題別紙、用紙葉書、飛號住所氏名明記、京城日報社『京日文苑』宛の事
其他　各地吟社會報歡迎

脇起俳諧之連歌

冬籠りまたより添はむこの柱　翁
落葉走らす竹椽の風　白骨
遠山のけふもくつきり晴風て　竹窓
からすはいつも騒く島哉　緑山
旅すゝり夢夜の月に嘯べらし　竹城
雑炊にほふ秋の冷やか　不老
新藁に屋根ふきかゆる大鵬り　萬象
和尚の嫁を皆が稱へる　都天女
歌壇は昔ながらに若蒸して　不絶
迷ふも道理みちは七口　左入
吉と出し神籤に縋とり急ぎ　獸
要職者のはたらきもよし十八公
行水をすませば昇る宵の月　撥雲
納涼床几べはこぶ冷酒　泉園
荷役して船は汐手の風をまち　龍子
流行小唄に皆をわらはす　飛骨
樂器もゆるさん花の片折戸　琴聲
蝶々雲雀にたけなはの春　數羅
右一折

冬夜徒然吟(仁川二、二)

火事跡の燻り火に月上り鳧　想仙
寧の陽の二階に干せる毛布かな
大根引く人夕闇に動きけり　駿白
寒空に鳥鳴き渡る渡舟かな
夫る港寒ざに今は顧りみず　濱ゝ
震災に送る毛布を括りけり
火事見舞廻り濟たる名刺かな　絹村
賓石崖宮を開きし毛布かな
姉妹ともよく肥ゆ居る種痘哉　交旗
袖入れつ泣く兒受る種痘哉
醫者の手の毛深を見し種痘哉
卓上の茶器に陽あたる種痘哉　耕雲
足袋はさず眼鏡の掛やふり向きし
ネクタイの歪み直せし吉習哉　田雷
姉妹子持となれる火燵かな
京の足袋を繕ふ妻が手の小胼哉　露郷

龍山ポプラ會(例會句)

多枯や閉した儘の難茶屋　樵舟
鴨待や人獸として草に伏す　吼
霜除や物の實赤き菊の影　龍子
張板の裏も返さで日短き　樵舟
月寒し鴨泳ぐ水光りけり　龍十
短日や牛の歩みのもどかしき　弦月
湯豆腐や柚子を加味して舌鼓　松聲
次々に鴨の降り來て沼廣し　同
短日や電用鳩の片便り　竜山
重著や日南を歩行く懐手　漁舟
多枯や郊外電車の音高し　秀雅
短日の薄れて風の吹荒ぶ　龍子
湯豆腐や紫香る花松魚　吼
重著を脱いで新湯る男かな　童山
群鴨や靜なる山の池　角丸

◇草笛吟社小集(龍山實柿報)
小春日の社頭に神馬撫しにけり　久波
夕日陰十大根をまげて見し　同
山茶花に淋しきありぬ宵の月　綴水
大根や軒に吊るされ風寒し　同
山茶花やいよ／＼淋し夕の雨　碧浪
洗はれし大根白く積まれ鳧　同
十茎程して又殿く草履大根引く　實柿
杖振つて歸る野道の小春哉　同

川柳　井上劍花坊選

題『踊』……六……

○慶北尙州　不知坊
御所望とあつて女將の一と踊り
○孝子洞　杜茂惠
愛人と踊る女房を殺いで居
○釜山　三好
蛇はすらして能く踊るそれしやの娘
○京城本町　近眼子
和と洋の交錯舞踏會の夜
○永興　狂花
貴線の字は踊つてる伯父さん
○京城　靜之助
虫干に踊つた昔思ひ出し
○京町　褒念佛
踊り子へ守子がたかる日の永さ
○寧邊　無庵
仕込まれた踊が今の不仕合せ
出る前に鏡の臨で踊る眞似
さす手引手の鮮やかさ皆默り
がつかりとして汗を拭く舞扇

新刊紹介

▲戯曲淨火(西光萬吉氏著)戯曲『毗琉璃王』(六幕)と『淨火』の二篇を納む、前篇は佛陀在世中の中天竺を背景とし虐げられた賤民旃陀羅が王位を繼いでも宿命から逃るゝ事の出來ぬ惱みと反抗的精神性それにあえかなる戀の力の強さ、繼母を求むる人間の醜さを描き『淨火』は水平社のある大部落の夏の夜の出來事を作者の鋭敏な觀察眼を以て書いてゐる、作者は人も知る水平社を創立した一人で兩篇共人間愛のにじみ出てゐる純藝術作品である、作者はしかし此の創作に於て水平運動とか彼等の思想の動きと云ふものに就いては詳しく語つてゐないが創作の動機には人間禮讃の根本主張に立つ水平運動の赤心が波立つて居るのが窺知される(價一圓八十錢京都市東山中外出版株式會社)

▲石楠(震災記念號)大震災に直面して(亞浪)俳史雜考(寥々)一茶雜記(純夫)切字の考察等讀むべき記事に次いで同人吟課題吟雜詠等滿載、切字に就ての考察(亞浪)また再讀に値する(本號に限り八十錢東京市外代々木山谷一七五其社)

▲南柯(九月)青草の茂り(鷺撲)予の選句所感(小波)南柯講歎(鳴雪)三昧會俳談(都草記)其他同人吟林集吟各地會報を豐富に掲げてある(三十錢東京赤坂區中之町七其吟社)

▲木太刀(震災號)無士、地震の記、地震雜詠(麥人)大地震の跡(水哉)灰燼(寅洋)其他募集吟を收めてゐるが總じて句は何時もほど多くない(三十錢東京牛込築地一二其社)

▲鴨東新誌(一八七)旅笠(騎幽)を卷頭に例に依つて各地より募つた多くの句を配列してゐる花本聽秋翁の主宰する俳誌(三十錢京都下京區東山三十三間堂南門前東(入梅鸞社)

▲湖南吟社句集(十一月)紛々錄は相變らず風骨氏が氣焔を揚げるための一頁、以下五句選や會報や近什欄等多くの力作を掲げてある(大田榮町一四其吟社)

▲新布敎却火と信仰(十月時感編)三十錢京都市東六條中珠數屋町烏丸東入法藏館▲兒童と宗教(十號)十五錢京都市烏丸通七條上ル大谷派本願寺社會課▲近代の結婚(十一月)十五錢東京芝區三田綱町一其社▲柔道(十一月)三十錢東京小石川區坂下町一一四講道館文化會▲文章俱樂部(十一月)三十錢東京牛込區矢來町三新潮社▲赤い鳥(十一月)三十錢東京府豐島高田町三五七二其社▲子供之友(十一月)四十錢東京雜司ヶ谷上り屋敷一一四八婦人之友社

讀者から

▲暇のある主婦に自宅で出來る內職をさせて下さい(久子)▲平壌の一女學校並に乳が出ないで困る婦人へお葉書下されば贈呈致等に依らずによく出る實驗談を申上げます(仁川山手町二の十七早田方織田)▲市內に裁流生花の師匠あらば(大和出身女)▲私は內職に和服仕立物をして居ますが普通仕立賃を御存知の方は(太平町おたづね女)▲去年と今年の大阪外國語學校入學試驗國漢英數問題を下記へ御知らせ下さる方なきや(天安石橋靜子)▲京龍市內にてヒゲチツクを販賣して居る商店なきや(天神堂)▲今年研究社發行の『受驗と學生』御譲り下さる方はありませんか(咸北朱乙上村)▲京城驛某驛の郵便所長よ、今少しく配達に注意を拂はれよ(迷惑生)▲聰敏なる十五歳の內地人少年コツクになりたし(大和町二ノ一二六竹澤)▲二人だけ本統に家族的に安値に御世話致します(御成町一二九相原)▲龍山の某郵便所長よ借金して迄女郎に逆上せ職務を怠けたり病婦を放つて置き官舍にも戻らんと近所の惡評や又身のためにならんぞ(忠告生)▲貴社の物理療法で毛を濃くする事が出來ませんが日曜でもやりますか(お尋生)△禿髪病の毛を生やす事なら出來ますが濃くする事は出來ません日曜は第一と第三丈け休みます(社)

燃料界の福音!!
品質本位で
値段の安い
三菱玉子型煉炭
一噸(正味一、六八〇斤)廿二圓五十錢也
三菱製煉炭 特約販賣店
京城[illegible]通一丁目
近藤謙助商店
電話光化門八三五番

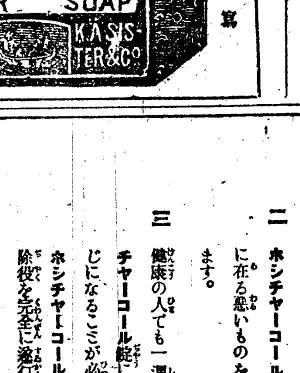
浮石鹸と云へば皆
シスターの様に
誤解されています
シスター浮石鹸は
包紙にも石鹸にもシスターの文字が現れて居ります。近頃粗悪なる石鹸でもシスターと稱して賣る店があります。御買求の節は下圖の包紙に御注意を願ひます

實物縮寫
大阪 栗津石鹸製造所

AKADAMA BRAND
REGISTERED TRADE MARK
美味 滋養 葡萄酒
赤玉ポートワイン

胃腸の掃除役
ホシチヤーコール錠は
忠實に、無言に

一 下痢があつて、其が治つた様で治らぬことあり、便所へ行毎に殘る氣がして不愉快な事があります。其時ホシチヤーコール錠を食前一時間又は食後三時間位にお用ゐなさい。其れは一二回の服用に依つて必ず止ります。
二 ホシチヤーコール錠は胃又は腸の中に在る悪いものを吸收して便に運びます。
三 健康の人でも一週間に一二度宛ホシチヤーコール錠に胃腸の掃除をお命じになることが必要であります。ホシチヤーコール錠は忠實に無言に其掃除役を完全に遂行致します。
四 胃腸が悪い食物の爲めに痛む時などホシチヤーコール錠を服用すれば、直に其の悪いものを吸收して先づ痛を止め其から其悪いものを便と共に體外に運びます。
五 ホシチヤーコール錠は胃腸の忠實なる掃除役たることを御記憶下さい、又人助けの爲め他の人にも御知らせ下さい。



ホシチヤーコール錠
星製藥株式會社 東京大崎

疲れない嗜
踊子が踊の疲れを補ふ爲めにチヨコレートを嗜むことはメキシコの昔からの事實です

森永ミルクチヨコレート
一個 十錢 廿錢
森永製菓株式會社
M—23

仁川宮町 西洋料理 東洋軒 電話五一九番

朝鮮郵船定期
朝鮮郵船株式會社 電話光化門 長一一八四番 長一一八五番 長一一八六番 長一一八七番
○釜山支店 佐藤町 電一八四番 六四四番
●元山支店 海岸通 電一〇二番
●仁川出張所 海岸町 電三五一番
●京城代理店 蓬萊町 朝鮮運送 電一二七〇番
●元山代理店 吉田運輸會社
釜山丸 十一月十八日 大阪行
會寧丸 十一月廿五日 下關行
鏡城丸 十一月廿 日 江原道行
立神丸 十一月廿九日 敦賀行
平壤丸 十一月十九日 淸津直行
咸鏡丸 十一月廿一日 淸津行
京畿丸 十一月廿六日 雄基行
淸津丸 十一月廿三日 浦鹽行
○釜山代理店 大池廻漕部
櫻島丸 十一月十九日 橫濱行
新義州丸 十一月廿九日 大阪行
會寧丸 十一月廿八日 下關行
ひより丸 十一月廿一日 鎭南浦行
京畿丸 十一月廿三日 北鮮行
淸津丸 十一月廿一日 浦鹽行
慶城丸 十一月十八日 鬱陵島行
雄基丸 十一月廿二日 江原道行
濟州丸 十一月十九日 濟州島行
宗信丸 十一月十九日 木浦行
○木浦代理店 商船合名會社
櫻島丸 十一月十八日 橫濱行
新義州丸 十一月廿七日 大阪行
統營丸 十一月十八日 釜山行
慶興丸 十一月廿二日 濟州島行
公州丸 十一月廿一日 多島海行
全州丸 十一月廿七日 仁川行
ひより丸 十一月廿二日 鎭南浦行
江原丸 十一月廿三日 濟島大連行
○仁川取扱店 堀回漕部
昌福丸 十二月一日 橫濱行
新義州丸 十一月廿五日 大阪行
ひより丸 十一月廿五日 鎭南浦行
全州丸 十一月廿二日 木浦行
耳濟丸 十一月[illegible]日 濟州行
德丸 十一月廿四日 鎭南浦行
江原丸 十一月廿六日 (濟島芝罘大連行)
平安丸 十一月廿一日 (安東大連青島行)

大阪商船出帆
仁川出帆
●大阪行(群山木浦經由)
◎天智丸十 月 日午後三時出
◎宮島丸十 月 日午後三時出
◎大信丸十 月 日午後三時出
●南浦安東縣行
△東兒丸 月 日午後三時出
△第七原田丸 月 日午後三時出
元山出帆
●城津淸津行
新高丸十月 日 午後五時出帆
●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
豪北丸十月 日 午後四時出帆
大連出帆
●上海福州基隆高雄行(但し○印は青島寄港)
湖北丸十 月 日 午前三時出
盛京丸十 月 日 午後二時出
內地各港出帆主要航路
●歐洲行毎月二回●濠洲行毎月一回●北米行毎月十回●孟買行毎月二回●南米行毎月一回●南洋行毎月一回
◎印一等御斷△印船客御斷
大阪商船株式會社仁川支店 電一貳・貳一〇・五五
京城內國通運會社支店 電話七〇番
切符發賣取扱所 仁川京城通り盛旅館 電話二一六番
專務仲次 仁川本町慶田組 電二一八四
荷扱 仁川港町慶田組 電話四二二番

三菱商事株式會社 仁川出入
尾道阪神行 住帆
長浦丸 十十月月 日日 入出
三瓶山丸 月月 日日
大黒山丸 月月 日日 出入
鎭南浦行
長浦丸 十十月月 日日 入出
三菱株式會社船舶部
仁川代理店
浦崎商店回漕店
仁川本町四丁目 電話長五〇番 長一八〇番

京城日報

（明夕刊合せて十頁）
本紙定價 一ケ月金壹圓二十錢 參ケ月 …… 六ケ月 ……
廣告料 五號活字一行金 …… 特別 ……
發行兼編輯人 …… 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 ……

早晩實現する

【哈爾賓十五日發電】……で行き惱んで居た……特別區……長が……に任命され……力完成に全力を注ぐ事となつた……交渉せられた……

【奉天十日發電】……

英國總選擧期

【倫敦十四日發電】英國首相ボードウイン氏は金曜日（十六日）に議會を解散すべき旨發表した之に依つて總選擧は十二月六日擧行さるゝ事となつた

英國の農業補助案

【倫敦十四日發電】英國政府は各州に於て農業補助案を採用したと云ふ右計畫の內容は左の通りである
一、全國の耕地に對し一英畝に付き一磅の補助金を交付すること、但し此の補助金は其耕地で使用する勞働者に一週三十志以上の賃金を支拂ふものに限る其の結果英國が支拂ふ可き補助金は年額壹千百萬磅に達する見込である

獨首相、前皇太子を賞揚（倫敦十四日發電）

獨逸首相ストレーゼマン氏は前獨逸皇太子は戰時中カイゼルを諫めたる唯一人の皇太子のみ平和締結の要を主張し殊に戰爭の末期に平和斷行の急を說いたのは皇太子であると云つた

クルップ會社長釋放

石炭引渡協定のできた結果か

【倫敦十四日發電】エッセン來電に依れば去る五月エッセンのクルップ工場で佛國兵が職工の爲め射撃を受けた事件に關聯して禁錮に處せられたクルップ會社長クルップ氏を始め同會社重役は何れも一時的に釋放されたが之は恐らくクルップ會社と佛國當局者との間に賠償としての石炭の引渡しを保證する協定が成立した結果であると思はれる尙は今回の釋放は永久的放免となるものらしい因にエッセン市長ミウレル氏も同時に釋放された

露蒙銀行設立計畫

（莫斯科十四日發電）勞農露國政府は蒙古との經濟關係の爲め、露蒙銀行の設立を計畫してゐる

廣東護法軍石龍占領

【廣東十四日發電】十三日護法軍大本營公表左の如し
廣東護法軍は石龍に於て勝利を得たが博羅は未だ陳炯明軍の手中にある惠州は既に陷落した

白音太拉暴行事件

本邦領事館徹底的調査開始

【東京電話】通遼縣白音太拉大倉農場に起つた邦人に對する支那兵の暴行事件は今回未曾有の事で支那側では種々なる難題を吹き掛けて居るが之が爲め奉天總領事館……氏は十四日……に赴き……大倉支店長も十五日現地に赴きたるが……と共に根本的に事實調査を爲し……を圖る筈である

支那の無電計畫には

三井獨占權を主張する

【東京電話】米國フエデラル會社が支那當局に七十萬弗の強力なる無線電信を設置する計畫に對し日本政府は米支兩國政府の間に如何なる契約が行はれて居ようとも……三井の……獨占權を主張し……を取消さしむる方針で我外務當局に於ては既に抗議したる次第である……十四日の閣議に於て伊集院外相より詳細に說明する所あり其承認を求め外務省は明日駐支芳澤公使に右抗議を支那政府に手交すると共に口頭を以て說明する訓令を發した

大詔の御趣旨

各學校へも普及する

【東京電話】去る十日御渙發相成つた大詔に關し文部大臣の告諭に基づき文部省は各學校に對し何等かの形式を以て之が御趣旨を徹底せしめる方法を講ずる事になつたが右は學校のみに限らず在郷軍人等にも重大なる影響を有するものであるから陸軍省のみに限らず陸軍省と……協議の上何等かの方針を講ずる事となつたが教育勅語及戊申詔書の發布當時の形式を參酌して其內容を徹底し發表する筈で之を以て國民の覺醒を促し重大時局に處し萬遺憾なからしめようとするのであると

革新遊說協議

【東京電話】革新俱樂部では十五日午後一時より院內事務所に於て議員會を開き革新俱樂部が議會に於ける……並に俱樂部員の統一遊說……

復興諮問案の討議

結局特別委員に附託すべく決定

長岡外史、空中防備の必要を痛論

【東京電話】帝都復興評議會は十五日午後一時より首相官邸に開會し二、三氏缺席の外は全部出席、總裁たる首相及後藤總裁並に阪谷會長より一場の挨拶あり會議に入るに先立ち長岡外史氏の發議にて友邦諸國の同情に感謝する決議文を提出し二、三字句の訂正の後可決外務省を經て各國に電送する事とし議事に入り宮尾副總裁より東京橫濱の復興諮問案を提出し說明する所あり之に對し一質問あり後藤總裁の答辯あり……防火區域以外の區域を速かに決定されたいと述べ宮尾副總裁の答辯あり次いで近藤達兒氏は諮問案を特別委員に附託し委員は議長の指命に一任すべしとの動議を提出し……贊成あり……三木武吉兩氏より質問あり小泉策太郎氏は諮問案に對しては特別委員を設くるの必要はないと述べ長岡外史氏は飛行機に關する防備の必要を說き最後に……氏の質問あり總裁の答辯あり夫れより近藤達兒氏の動機に就き採決の結果多數で可決議長の指命で特別委員を決定し午後五時散會した

後藤總裁の挨拶

復興院評議會に關する官制は九月十九日に公布せられ次で同月二十七日に帝都復興院の官制が發布せられました而して帝都復興院評議員及び參與の諸君の任命は十月十八日に行はれましたのであります斯の如く帝都復興院の事に付きましては急を要する事であるに拘はらず當局と致しましては其の調査に日を費しまして今日漸く各位の御參集を仰ぐ事になりましたのであります之れが爲めに帝都の市民は勿論內外人共に等しく興を著くる所深く一日も早く此の發表を見る事を切望して居る事は今更茲に云ふ迄もない事でありますけれども此の調査たるや實に諸般の事に當り其の進行實の如くならざる事は當局の最も遺憾とする處であります各位の御任命がありましてから今日迄遲延しました事に付きましては當局自ら其の責を免れぬ事と恐縮致して居る次第であります

帝都復興の事は全く帝國の復興の力に依つて完成すると申しても良い位で之れは只今總理大臣の御挨拶中にもあつた樣な次第でありますから此の事に付きましては物質的精神的の兩方面の關係を持つ事でありますが故に評議會に於ては各方面の方々に御願ひする事になりました是に依て遺算なきを期し度いと思ふ次第であります此の事情を申上げて挨拶に代へ度いのであります

諮問原案の內容

第一 復興計畫區域及び復興事業の規模に關する件 復興計畫の區域は大體に於て東京及び橫濱の都市計畫區域に則り大體既定の方針に隨ひ既往の成績と大震大火の災害に鑑み又特に將來の發展に意を用ゐ大體左の如く其の規模を定めんとす

一、街路 街路の構築に付ては特に交通系統の配置に意を用ひ主要街路の規格は幅員十五間乃至三十間とし以て豫め高速度鐵道の敷設に備へ之に配するに幅員六間以上の街路を以てし又軌道網を構成する路線の規格は十一間以上とし地域の狀況と交通の系統に鑑み各路線の配置及び規格を定めんとす

二、公園及び市場 公園及び市場の位置を凡そ左の如く定めんとす一公園、官公有地を公園用地とするもの……外數箇所に遊園地を設け尙ほ出來得る限り燒跡地域內に於ける小學校敷地を擴張し兒童公園の用を兼ねしめんとす二市場中央市場は築地海軍省用地跡に設け蔬菜市場は兩國秋葉原兩驛附近に設けんとす

三、防火地區及び建築助成 防火地區に付ては既定計畫の外前揭新設主要街路の沿道に路線系の防火地區を設定し特に商業中心地區に於ては集團的防火地區を擴張し其の防火地區內に於ける不燃質建築に對しては適當の方法に依り之を助成せんとす

四、土地區劃 街路の新設又は各地區に涉る……地區とし……生じたる時其他土地の狀況に據り必要あるものに付ては土地區劃整理を行ふものとす

五、港灣運河 橫濱港を以て帝國の外港とし隅田川口に內港の設備を施し且つ沿岸工業地域の發展に資するが爲め京濱運河を開鑿し又市內水運の便を利用增進する爲に必要なる運河を新設改修し沿岸に適當なる倉庫地帶を設立せんとす

第二 復興計畫の統制及び復興事業の執行に關する件 東京及び橫濱に於ける復興計畫は其統制統一を保持する爲め帝都復興院に於て之を統轄し之に基きて執行する事業にして其都市構成の骨幹となるべき重要なる施設は帝都復興院之れを執行し其他は地方公共團體の施設に委せんとす

第三 復興事業の負擔區分に關する件 國に於て執行する事業の費用は其事業の性質に依り相當の率を以て國庫、公共團體に之を分擔せしめ又地方に於て施行する事業に對しては其事業の性質に從つて適當の率を以て國庫より補助して之れを助成せんとす

憲政總務凝議

非政友合同について

【東京電話】非政友合同問題に就き憲政會總務會は十五日午後若槻、濱口、安達、下岡、町田、小泉、小川の諸氏は麻布六本木の大和田に會合し今後の……に就き意見を述べて協議を遂げた……を計る爲め臨時大會開催の件を附議し……件に付き……を促すため全國遊說の件を決定した……に就つたが此の諸點近く非政友合同に付いて各派有志間に具體的交渉が開始せらるゝ模樣である

豫算內示會は

廿五日頃開催

【東京電話】政府は豫算案決定後各政黨に對し豫算內示會を開くことゝなつてゐたが今回は復興豫算……臨時議會も……であるから來る二十五日頃……と共に大藏……各派に對し……を開く筈である

田中氏脫黨問題

未だ解決せぬ

【東京電話】政友會に於て先に脫黨……田中……三氏の脫黨屆の撤出があつたのに對し政友會幹部は田中氏と同じく……脫黨承認の手續を……保し居る……の事もあり……が來る十八日……

更正豫算

十八日頃完成

【東京電話】……和田財務局長……以來連日……各局部長會議を開催の結果十四日を以て各局部との打合を終了したので目下各局部長の意見を參酌し小修正を行ひつゝあるが……に依れば十八日……

辭令

【東京電話】十五日

休職朝鮮總督府事務官 大芝惣吉

依願免本官

朝鮮としての要望

上京委員の努を多とする

京城市民大會委員長 高橋章之助氏談

市民大會實行委員會は十五日夜……に大會上京委員の勞力を謝した……が右に就き高橋大會委員長は語る

朝鮮補給金は一千五百萬圓以上でなければ朝鮮としては……積極的財政論から必要なる……何とも致し方がない、中央には……事業公債は絶對打切りと言ふから……政府の……を……朝鮮の……積極的に……

……と云ふことになり殖銀も……の手腕で出來る丈け金融をつけて貰ふことになり……此の市民大會……を如何にするかこれは私の案であるが朝鮮現下の大勢上之れを永續的の機關として朝鮮の經濟狀態を……と思ふ……朝鮮の……

社債時代が到來した

中間景氣は恐らく出現しまい

石井殖銀理事談

東京駐在石井殖銀理事は十四日入城したが其談に曰く▲最近内地の財界も安定と迄は云へないが少し落付いた模樣は見える、銀行はモラトリアムの結果一時困難に陷つたが日本銀行の援助によつて……興味を表し加ふるに今回の……によつて一般の信用が……一流銀行では皆資金が……

鮮魚運賃改正

鮮魚の運賃改正は鐵道局で……

鮮鐵明年度建設工事は

中止繰延べしても

尙ほ一千萬圓を必要とする

或は繰延の大方針を執り只管明年度建設改良に對する善後策を講じてゐるが咸鏡線の中には……として……北に伸びた……州間の五十三哩の如き早く……完成をつけてゐるので……繰延にする……極めて不利あるを……り是に鑑し……た線路に對しては工事繼續を……前記五十三哩の……極めて緊要なものを建造し……如く明年度に……開始を行ふ意響であるらしく斯の如く事業の大……策を講じても尙ほ是に要する經費は一千萬圓を是非共必要とするので……八百萬圓にては……補給金より支辨されると傳へらる……

鮮鐵の建設、土木其他の建設改良費として二千……萬圓を計上した明年度の事業公債は政府大整理の餘波を蒙つて全部打切りの災厄に遭ひ之に代るに約一千萬圓を明年度補給金に繰込其額約二千五六百萬圓であらうと傳へられてゐるが從來公債に依つて事業を繼續して來た鐵道土木の如き明年度の事業費は此の補給金の中から支辨を仰がなければならない狀態となり從つて鐵道部と財務局との交渉の內容は在の鐵道工事狀態に鑑みて大約……

朝鮮事情

宣傳班より

（十四日午後一時下關に在る平井商工課長より總督府宛來電）……十三日午後六時より市長……

茶話

▲鐵道事業が縮少される……となつた結果朝鮮では第一に……

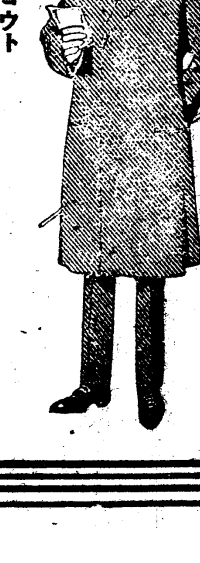
氣象日報（十六日）

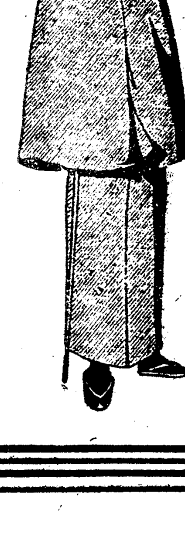
十六日朝高氣壓は朝鮮に擴張し大陸方面に移動せんとして居る、滿洲及支那大陸は氣溫低く全鮮は一般に天氣良好で晴天である、十七日京城は概ね曇後雨又は雪であらう

天氣豫報（十七日）

曇 後雨又は雪

十六日正午 ……
十五日最低 ……





寒さの御用意と
特價品の提供
●オバーコウト
▲高級既成品 A三十五圓 B四十五圓 C五十五圓
▲御別誂品 A五十圓 B六十圓 C七十圓
●トンビ
▲高級既成品 A三十九圓 B四十五圓 C五十五圓
▲御別誂品 A五十五圓 B六十五圓 C七十五圓
京城南大門通
丁子屋洋服店
電話本局 二二〇番 二九三番 大六〇番
休日廢止毎日夜九時迄營業

最新刊
神崎岩三郎著 白路を見つめて 一、九〇
山本文三著 大地 一、五〇
大杉榮著 日本脫出記 一、六〇
錦防太郎著 地震の智識 一、九〇
水木梢著 教育教授の高等批評 一、八〇
朝鮮史學會 朝鮮史講座（第一號）一、〇〇
振替京城 大阪屋號書店

建築
建築科講義錄
建築の普及
洋鐵鋼鐵道船舶 材料其他工業諸器械 附屬品商
角野商店
釜山 ……

祝物産品評會
水原郡廳

知識階級の新人として
梅林卯三郎君を
府協議會議員候者に推薦す
官廳、銀行、會社
金融組合在職 有權者有志

鳩居堂の
最上エノグ
水彩用 十二色 七十錢
同 大形 八十錢
皿流シ 三號 十色 廿五錢
皿流シ 三號 六色 十五錢
畫家用繪具各色 四十錢
以上各種
京都寺町 熊谷鳩居堂

何んと云ふ醜態だ
愈よ切迫した逐鹿戰
間際になって飛出した日和見候補
選擧を競技化するか

今回の府協議會員の選擧は候補者からダレ氣味に満たされた選擧氣分は先づ以て少からう、所が愈々あと三四日と云ふ時になつてから急に慌て出した様に無暗矢鱈に騒ぎ出して一大混亂を生じたのも一種の醜態と云へば醜態である、斯う云ふ現象は決して立派な現象とは如何しても言ふ事が出來ない、最初から打つて出ると云ふ旗印を鮮明にして堂々と名乗りを揚げた候補者は別として、出るとか出ぬとか因循姑息な態度お天氣見の態度で愈々期日切迫して『この調子ならば或は行けるかも知れぬぞ』と云ふ見越しを付けてから後から後からの様にピヨコリと飛出すと云ふ事は府民の代表を以て任ずる府協議會員の態度として決して賞揚する事は出來ぬ、又選擧に對して眞面目なものとは云へぬ、謂ば一種の山師である、こんな調子で後から後からくとニヨコく出て來るものだから定員三十名に對し四十二三名もの候補者が出て來て一大混亂を生ずるのである、選擧を一種の競技化する積りならば超過人員の多い程熾烈な競爭が起つて面白いかも知れないが選擧を眞面目に考へる時は餘りに超過人員の多い事は寧ろ喜ぶべき事でない、それも最初から堂々と名乗りを揚げたのであれば所謂競爭であるけれども形勢觀望の結果斯うなると云ふ事は何としても良い現象とは云へない、殊に府政の將來を考へ、府民の利福を欲する熱誠があるならば形勢觀望など云ふ態度は斷然取り得ない筈である、府協議會員の選擧に限らず府民すべての選擧に於いて斯の如き風習があるやうであるが京城府選擧界の爲に惜しまねばならぬと某有志は話して居た

形勢とりぐ
樂悲交々の各候補
朝鮮人側は二十三名の出馬

内地人側の候補者は既報の通り二十名であるが何れも混戰状態である、朝鮮人候補者も兩三日前までは十六七名であつたが最近に至り二十三名となつた、最後に乗り出たのは渾戰沸の決選、殷落論の朴氏で此の多數の候補者は何れも可なり堅固な地盤を有して居る一方は混戰状態一方は地盤状態と云ふ事であれば此の間の競爭が如何になるものか

大垣老公 は最初比較的樂觀の立場にあつたが澤田君が乗り出たので花柳界の旗色が大分悪いて來たので一大恐慌を覺え少からず哀愁の状態である

武上君 も最初官吏側を主なる地盤として立つたのだが之も後になつて肥塚君が出たので官吏側や土木方面に相當影響を生じ武上君も頭痛を病んで居る

梅林君 は西小門方面に喰ひ込み相當勢力を得て居るもの、決して樂觀を許さぬものがある

肥塚君 候補者中で最も遲く出馬したが堅固な地盤を占めて居るのは同君で京東町の有權者は勿論他にも大分關係者がある由で他からの侵入を許さぬと云ふ形勢さを有して居る

堀君 少壯で前途ある所も頭腦の明晰な點に於て評判はよい候補である併し土俵際が如何なるか保證は出來ぬ、十五日夜公會堂で開いた政見發表演説會も相當多數の聽衆があつて頻りに拍手を浴びせられて居た、應援の辯士も熱誠を競つて同君を推賞措かなかつた

高山君 は最初から堂々たる陣を張り古市町吉野町を堅め進んで北米倉町まで侵入して居るとの事である

肥塚君 南大門外町內聯合會所を本陣とし武大肥塚氏を始め土井氏等詰めきり門外の諸策を凝固にすべく毎日戸別訪問に忙殺されてゐる龍山側の候補の地盤進出が激しいので必死となつて之が防禦に努めてゐる

一時間に三千の有權者を受附る
選擧係員の意氣込
案内状を忘れぬように

十七日午後一時から京城府會議室に於て選擧係員の打合せ會を開き選擧事務分擔及び注意事項等の打合せを爲す筈であるが今回は選擧人の便宜を計る爲め選擧案内状のはがきを全有權者に發送したが該案内状には受付所番號及人名簿番號等を記載してあるので直に名簿と對照する事が出來るのである從來の選擧は一時間に約一千人位の受付が出來たのであるが今回の案内状を持參すれば約三千人位以上を取扱ひ得ると云ふ事で双方の便宜である、で選擧當日は案内状を忘れぬ様に注意ありたしと係員は語れる尚忘れた人及不參の向に對しては投票はさせるが此分は準備受付に於て取扱をなすので自然遲延を免れぬ

龜戸事件
死體發掘
警戒物々し

震災當時龜戸警察署で殺害された平澤計七等十四名の遺族間に紛糾を重ねて居る龜戸警察署では何うした譯か十四日朝九時頃突如龜戸警察署長と共に私服の警官五十名が一團となり屍體の埋めてある荒川放水路及び四ツ木橋に出張し十時から人夫二十名が小森龜戸署長指揮の下に屍體發掘に着手した

晋州丸遭難者 死體捜索

十日から手繰網漁船三隻を使用して大々的捜索を試みたが一向[illegible]……一人の生存者は咸興生れの金[illegible]といふ人であつたと

濟生會の震災[illegible]

太鼓腹抱へて 警察に泣付く

社員會發會式

水産試驗場近況

高利貸の間を馳廻る
富豪の遺産八十萬圓
韓鎭達財團にまつはる怪聞
一派の策士に鐵槌が下る？

朝鮮總督府の社會課内に事務所を置く韓鎭達財團は本年三月死亡した京城の富豪韓鎭達氏の遺言に依り同氏の財産約八十萬圓を後十箇年間同氏の財産から生ずる收入の半額を朝鮮に於ける社會事業研究所助成の基金とする條件で設立されたもので現在社會課長矢島杉造氏の如きも引續き同財團の理事として設立の趣旨を完ふすべく盡力してゐた

右韓鎭達氏の遺族等は同氏の死亡後同家の財産は其後調査の結果殆んど皆無なること判明したとか財團組織のとは全く寝耳に水の話であるとか言を左右に託して基金の提供を肯んぜず殊に韓鎭達氏の死亡後一齊に各方面から現れた自稱親族等は定めある鮮人辯護士某を黒幕として故人を借主とする無數の債務を捏造し事毎に面倒な訴訟事件を惹起し原被告並にその辯護人等何れも一つ穴の狢となつて韓鎭達家財産の横領に努めて居り現に最近に至つては故人名義の不動産を擔保とし東拓其他の金融業者より巨額の融通を企てた所それが財團關係の財産であるとの理由から貸付を拒絶され右の財産は目下京城府内の大高利貸の間を持廻られてゐるとの噂もある爲め漸く一般の注意を惹くに至り

殊に財團側にあつては斯等不徳漢の行爲が明かに財團の利益を侵害するものたるのみならず斯かる不正行爲を何時迄も繼續させ置くことは近き將來に於て韓鎭達未亡人を非常な逆境に陷らせる虞れがあるとし嚴重な抗議を提出した模樣あり尚當時京畿道知事の如きも財團設立當時に於ける有力な助言者だつた關係上殊にその成行きに注意して居るので場合に依つては韓鎭達未亡人を取卷く一派の不正策士に對し一網打盡的な檢擧の手が伸びるかも知れぬと觀られてゐる

碧梧桐氏來る
十七日朝入城

滿洲旅行中であつた俳人碧梧桐氏は歸國の途十七日朝入城京城に一泊するので俳句同人は十七日午後四時より旭町三丁目谷郵陽軒に歡迎宴を催す由會費五圓出席希望者は黄金町四大久保眞敏氏（電本四千十八番）へ申込まれたいと

世界的文豪
近く來朝する

【紐育十四日發電】西班牙の世界的文豪イバネス氏は今冬日本へ赴く筈で十二月二十三日横濱着の豫定同氏は日本に約半月滯在し其の後朝鮮、滿洲、支那を漫遊して西細亜各地を觀察の上歐羅巴に渡るとの事である

山下汽船大圖丸
海賊に襲はる
邦人數名俘虜となる

【廣東十五日發電】山下汽船大圖丸は十四日汕頭附近で坐礁した處五十名の海賊に襲撃され邦人數名俘虜となつた

別報【香港十五日發電】サメン沖に碇泊中の英國砲艦タランチユラ號が山下汽船會社の社船大圖丸より接受した無線電信に依ると同船はホアンポア沖八淮の地點にて坐礁中海賊に襲はれたとの事である、因に同船は石炭を積んで臺灣から廣東に向ふ途中此の難に遭つたので乘客はなかつた鈴木商店の代理店は直に新陽丸に對し[illegible]

機動演習が生んだ
内鮮融和の美談
兵隊さんを慕ふ李少年
遙々京城へ來て訪問

第二十師團秋季演習が去る十月三十日龍山歩兵第七十九聯隊が江原道高城郡高城面の民家に宿泊した時第九中隊長上村大尉以下十餘名が同所の李某方に宿泊する事となつた其部下に二等兵一等卒金山熊と云ふ青年が居つたが同家の息子李日允（一七）を非常に可愛がつた所が同家では同兄が東都大震災で死亡した事が二週間ばかり前に通知が來たが其際内地の軍人が非常に親切に助いて下さつたと云ふので同家の主人が不在中にも拘らず母親と其李日允との二人で出來る丈けの親切を盡した一行は翌朝出發して演習も終了したので金山一等卒は其李日允に禮状を出した所李も又立派な邦文で禮状を送つた、所が今度水原に品評會が開かれ會場が普通學校になり廿四日迄學校が休になつたので李は京城の姉の嫁入先に遊びに來た李は間もなく姉と二人で七十九聯隊に金山一等卒を訪ひ一緒に酒保へ行つてパンを喰つたりなんかする中李は歸る事が厭になり此儘營所に泊め與とセガみ始めた姉がいくら止めても聞かない其中に日は暮れたので姉は後を頼んで先に歸つた後で李はどうしても金山君の所に泊まると云つて居るのを上村中隊長が聞き同情して自分の所へ泊めてやらうと云つても兵隊さんと一しよでないと嫌だと頑張つて仕方がないのでとう／＼金山君は中隊長と相談の上夜遲くなつて漸く李を連れ出て昌徳宮裏にある叔母の許まで屆けてかへつたと云ふ、李君は是非兵隊さんと一しよに暮し度いとそればかり云つて居たそうである

甘粕公判開廷
傍聽席は忽ち滿員

甘粕、森、平井、鴨志田、本多の殺人公判は十六日午前九時から一師團軍法會議室で開かれた三憲兵の被告が新に加はつたのと甘粕が宗一殺しの命令者であるか否かも本日の對質が開かれ興味を惹いたのと告森法務官に對する好奇心からとで人氣は大層なもので午前七時と云ふに傍聽人がゾロ／＼押掛け定刻には立錐の餘地なき有樣九時五十分小川法務官外判士十一名警察官が夫れ／＼席に就き看守に伴はれた各被告が出廷する甘粕は長く牢獄に在つた疲れと精神的煩悶の影響を受けたのか一回の時よりはズット瘦せて見え氣の小さい森は矢張り元氣がなく丸腰で悄然と法廷に曳かれてゐるのは寧ろ氣の毒な位だ塚崎鴨志田山氏以下新鮮の諸兵士も混つて著席する法廷は第一回に比し一層緊張して思はれた（東京電報）

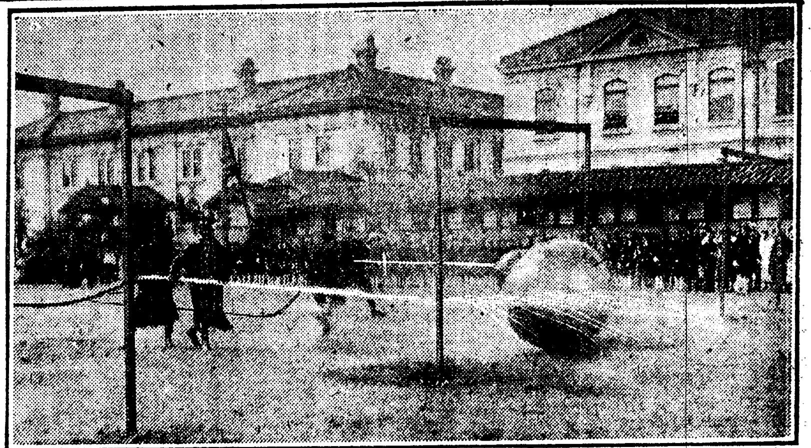
法廷雜觀

甘粕大尉の殺害事件公判は十六日午前九時四十五分第一師團軍法會議室に開廷、前の小川法務官と今度の告森法務官とを比べると告森法務官の方が如何にもキビ／＼として審理が捗る樣な氣がする甘粕もハツキリして居て少しの躊躇も見せぬ、傍聽席に一の婦人が洋裝して來て居ると一看守が見付けて帽子を脱がせたすると上官がやつて來て帽子は被らせても宜しいと云つた、すると看守は洋裝婦人に對して曰く『帽子を被れッ』（東京電報）

朝鮮で立派な石鹸が出來る

朝鮮で優良な石鹸が出來る、消毒藥アイゼルを英國から輸入して居る龍山の井上宜器が朝鮮に於ける石鹸製造の有望なのに着目して今度造り出したアイデル石鹸がそれである、朝鮮に於ける産業は總督府の施設宜しきを得て近年著しく進歩發達したとは云へ化學工業の如きはまだ極めて微々たるものである、井上宜器が斯うした現狀において頗る大規模の設備を整へ優良な石鹸を多量に製造するに至つたと云ふ事は誠に喜ぶべき現象と云はねばならぬ、井上氏は語る

併合當時朝鮮の石鹸需用高は僅かに二萬圓に過ぎなかつたが今日では既に百萬圓を超えて居る然し洗濯石鹸を除く外は多く内地及び外國から供給を受けて居ると云ふ情ない状態である一體朝鮮は石鹸原料たる牛脂を多量に産出するのであるから技術と設備次第では幾らでも立派な石鹸を製造し得られるのである、今回賣出したアイゼル石鹸は時節柄無益の包裝を省き石鹸の實質には何等關係のない香料を節し何處までも實質本位として低廉に供給する事にしたが是は去る十一日降下した大詔の御趣旨にも副ふ譯である



秋季消防演習の餘興（玉轉し）

山形師範寄宿舍全燒
死者七名負傷數十名

十五日午前一時頃山形縣師範學校寄宿舍より發火し同舍を全燒し三時半に至り漸く鎭火したが全寄宿生の寢入り鼻の事とて混雜甚だしく生徒六名小使一名の死者と數十名の重輕傷者を出した原因搜査取調中（山形電報）

大仕掛の密輸出團
首魁は美人

最近神戸市を中心に大仕掛けのピストル又は麻藥等の密輸出團が頻々として現れるので縣刑事課及び各署では目下必死となつて警戒して居たが十三日朝又復大規模の密輸出團が三の宮に現れた首魁は神戸山の手に住む日本婦人で十一年九月から身分不相應の邸宅を構へ日本人山田某支那人外國人を併せて三十餘名を手下として阿片、コカイン、モルヒネ其他ピストル等の密輸出を爲して居たもので其額も既に數十萬圓に達して居ると（神戸電報）

軍資金募集

大韓統義府義勇軍第一隊長朴日善及孫時鵬は八名の部下と共に十月以來鮮地に於て軍資金の募集に努めて居たが去る七日多額の軍資金を募集して寛甸縣胡首套へ歸來した向又聞する處に依れば彼は平安南道北兩道の富豪數名に對し近日中軍資金募集の通知書を發する模樣である（安東電報）

納稅宣傳
總督府の試み

總督府にては國民の納稅思想を涵養する爲に各種の施設を講じて數節方を命令した又納稅思想の普及に日本領事は關東州に對し適當地に施設を設置せん事を要求したが當局者は之に應じ難しと回答したるが今回一層納稅思想の普及を圖ると共に之が向上發達の氣運を促進する爲に道廳、府郡島面等と協力して各地に於て納稅講話會等を開催することゝしたが第一著手として林總督府事務官は京畿道及忠清南道に出張し各地で納稅講話會を行ふことになつた尚今後引續き此種の納稅講話會を開催する計畫であると

壯觀を極めた消防演習
十六日景福宮前で擧行
餘興の玉轉しは大喝采

府内の常備消防隊義勇消防組の秋季演習並に檢閲は既報の通り十六日午前十時より景福宮前で擧行された、來賓として有賀知事、各府尹等多數の官民が臨席したが周圍には觀覽者が雜沓して其他見物人の山を築いて居た

之より先常備消防隊、京城組龍山組、麻浦組は當日午前九時迄に指定の位置に整列し定刻となるや馬野警察部長は藤本保安課長小能所長と共に自動車で常備隊と京城龍山兩組の機械器具を順次に點檢して引返へすと喇叭手を先頭に常備隊より步調勇ましく分列行進を行ひ器械前を過ぎて指定の位置に復し再び喇叭の音を合圖に愈々演習動作に移り消防自動車の運動が數回開始された後最も興味深きジェットボールの競技に入つた

先づ京城組山組と麻浦三組で腕用ポンプを中間に置き號令一下に各消防組は上下する内麻浦組の筒先きより水を浴びて水が迸り續くより水を汲んでポンプに注ぎ一手は馬燈や水袋を搬へて貯水タンクに水を注ぎ決勝門を潛らせんとしたがボールは轉々として自由にならず觀衆は何れもヤンヤと拍手喝采する内龍山組が第一番に京城組の續いて自燈隊々として之昇ると見るや常備隊の消防自動車が運動を開始しジェットボールの競技を始めたが腕用ポンプとは異りボールに注ぐ水は天に沖して水龍の躍るが如く折柄の陽に映發して光彩陸離、觀衆はこの壯觀に終始拍手喝采して消防手の動作の機敏なことを賞賛して居た競技終了後各隊組約三百名は麗順官前に整列して馬野警察部長の訓示を聞き解散したのは十一時頃であつた

特別扱ひの市內郵便
利用者が多い

京城、仁川、釜山、大邱、平壤及元山市內の各局では其市內に配達すべき左の種類の物に限り『市內特別取扱郵便』として取扱つて居るが其料金は普通の約半額である

全部又は大部分を印刷した書狀及同一內容の新聞書籍を同時に百通以上差出す場合に限る

右取扱開始以來の調査に依ると本年四月から九月までの六ケ月間に取扱つた數は十八萬九千九百七十一通でこれを前年に比すると約三倍に達して居るがこれは一般に其利用が周く知られた結果であると

京都にも疑似虎列拉
大阪から傳染

大阪方面の虎列拉發生は其後下火となつたやうであるが京都方面に蔓延したらしく京都府八幡町小森倶太郎（一）は十四日夜發熱嘔吐下痢をはじめ虎列拉の疑ひあり京都府では大狼狽を爲し目下大澤技師が調査中である（京都電報）

日出校學藝會

府內日出公立尋常小學校では十七日土曜午後一時半から同校講堂で學藝會を開催する由

人道橋の下に
素晴らしい美人の死體
身元も素情も判明せぬ
腹の子に秘密が潛むか

十六日午前九時半頃零下六七度に下つた朝鮮漢江第二人道橋第一第二ピーヤの中間淺瀬の岩角に年若い內地婦人の溺死體あるを同橋詰の巡査が發見龍山署に急報したので龍山署高等部長は部下を從へ現場に出張死體を檢視したが死體は年齡二十一二歲位の顏立ち美人で顏はまだ紅味を帶び死後間も無いと推察された

然も顏面表情は何等苦悶の色なく金齒を入れた齒並に十八金の寶玉入指輪を嵌めて居た身長四尺七八寸、同部錦紗縞の袷にモスの羽織を着し紅の毛糸細紐の上に白縮緬の新しい緒に金紗の裏夜帶を締め白足袋の上に淡紫の下駄の緒の痕跡あり

懷中に黒皮小蟇口に一圓二十四錢あつた外遺留品一切なく檢視の結果は姙娠せる形跡あり他殺の疑ひはないらしく身許に關しては一切不明で風采から推測して素人ではないらしい。自殺の時刻は十五日夜の事で橋上から飛び込んだか或は上流から漂流したか解らないが身體には何處にも異常なく檢視官は取敢ず他殺の疑ひないものとして府廳に引渡す事とした

婦人コウト
新柄着荷
高級既成品
多數品揃
●商弊店特製
市內は店員參堂
地方は見本贈呈
京城南大門通
丁子屋
電本二三二〇

トーナメント庭球試合
高師太田優勝

高等師範學校コートに於ける十五日の秋期カレーヂ、オブ、トーナメント庭球、單試合決勝戰に於て高師の太田は早大の八十川を破り選手權トロフヰイを得た、試合經過次の如し（東京電報）

太田（八—六、六—一、六—一）八十川

慶應6法政3

慶應大學對法政大學第二回野球戰は十五日午後二時から中野グラウンドにて開始したが六對三で慶應側勝利を占めた（東京電報）

局部長會議休會

十六日に於ける總督府定例局部長會議は事務の都合により休會した

『日用便覽』發表

仁川觀測所では例年の通り暦日、主要港の高潮時、各地の氣象表、氣溫雨量、緯度經度、山川、面積、戶口表等日用必須な事項を記載した『日用便覽』を印刷中であるが希望者は一部金五十錢を添へ京城測候所へ申込まれ度いと

演藝案內

大正館 松竹特約 每日晝夜
當る十三日より三大名畫封切
◇ゴールドウヰン映畫 ◆ニコ／＼劇『目茶學校』全二卷
◇ゴールドウヰン社 ◇メトロ會社提供
正喜劇 酒の世の中 全五卷
◇松竹キネマ特作現代劇
人情劇 大馬鹿者 全六卷
◇ミルトンシルス主演
俠鬪劇 血の叫び 全五卷

中央館 マキノ映畫 每日晝夜
當る十三日より特選映畫提供
新派悲劇 老僧の戀 全五卷
○エディポーロ氏快演
連續大冒險 大魔王 四卷
○マキノキネマ株式會社超特作
大久保彦左衞門
現代映畫 刀 全五卷
大活劇 英雄キッド 全三十卷
人情劇 荒浪と戰ふ男 全六卷

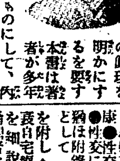
喜樂館 本町一丁目 電話九九七番 晝夜
十三日より秋季特選名畫大會
◎實寫 タイプライター製造
◎ニコ／＼大ウソツキ
▲京都スタヂオ初秋特作品 尾上松之助、片岡長正主演
名劇 吃の又平 六卷
連續 ホワイトイーグル 第二四卷

浪花館 明治町 電話二六〇
當る十五日午後七時より 京城日報社後援
青年浪界 雲右衞門一行

開盛座 龍山
當る十一月十二日より開演
喜劇 白鳥會一行

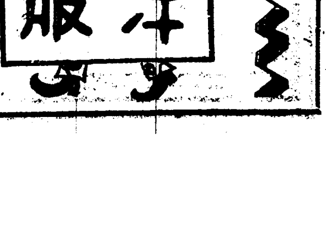
黄金館 松竹キネマ直營 每日晝夜
館主上坂持歸りの特別番組
實寫 フイリツピンの水牛 全一卷
人情悲話 三人妻 七卷
文豪故尾崎紅葉山人遺稿 山本嘉一以下美人女優五十餘名

男女 性慾及性交の新研究
性學大家 澤田順次郎先生著 四六判洋裝寫眞入
●性に悶ゆる青年男女よ！一讀解決の鍵を得よ！
●性慾は人類の本能にして性交は人生の基礎、天の使命なり
男女若返り法
定價 金壹圓五拾錢
東京麻布富士見町六 正文社
大震災寫眞 一組 無代添附



▲牛、鳥、肉、すきやき
▲ちり、よせ、かき鍋
▲其他鍋もの一式
御料理 銀月
京城旭町一丁目
本局二七四七番

▲防寒暫りチョッキ
ラクダ 9・40 スコッチ 6・5 糸 7・20 送料 ・30
▲ラクダ毛シャツ 壹組 上下 1)・60 送料 ・30
▲メリヤス實用向キ 白、ラクダ色壹組 4・00 送料 ・3)
▲メリヤス四〇吋 瓦斯糸 白、ラクダ色壹組 6・20 送料 ・30
▲ワイシャツ 綿英 2・00 中毛 5・30 毛純 8・40 送料 ・30
▲毛布鼠二枚續キ 特價 四斤七分附 17・00 送料 ・60
▲敷布用綿毛布 二枚續キ壹組 4・00 送料 ・40
京城本町 丸一雜貨部
電本一〇九一 振替京城八三五二



○トンビ
○オーバ
○セビロ
○詰衿
○子供服
セビロは異形寸法を除く外總て既製品に出來上り居候總て優秀品のみにして價格の低廉と仕上りの出來榮は如何にも大量の製造たる特徴を御試覧被下る事と信じます
階上陳列
是非御高覽を乞ふ

米棉輸出餘力（上）
五百九十萬俵

米棉貿易者に係る米棉需給推算は次の通りである

米國農務局最近の棉花收穫豫想は千七十萬八千俵（九月一日）であるが此れに基づいて今年度（本年八月至明年七月）の米棉需給推算に明年度への米棉持越高を推算すれば左の如し

	（千俵）
昨年度より持越	二、五七三
新棉豫想	一一、三〇〇
供給合計	一三、八七三
消費豫想高	一二、五〇〇
差引明年度へ持越	一、三七三

即ち明年度への米棉持越はリンターを加算するも僅に百三十七萬俵に過ぎぬ計算となる點に未曾有の現象である因に今年度持越米棉の所在場所別は左の如し（米國農務省ヘスター氏の調査による。單位千俵）

所在地	今年	昨年	比較減
◇米國			
南部紡績	三一一	六四〇	九九
南部棧橋	四四〇	一、三六六	九二六
倉庫在高	八四四	一、六六	[illegible]
北部紡績	三九六	九九九	六〇三
米國合計	一、六〇三	三、七八二	一、一五一
◇歐洲			
紡績工場	[illegible]	[illegible]	[illegible]
港灣在荷	[illegible]	[illegible]	[illegible]
歐洲合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇總計	二、九四一	四、八九九	[illegible]
內リンター	[illegible]	[illegible]	[illegible]
差引リント持越高	二、五六九	四、五四三	一、五三一

次に米國のみの需給を推測し其輸出餘力を推算すれば

	（千俵）
昨年度より持越	一、四七五
新棉收穫推想高	一〇、七八八
供給合計	一二、二六三
消費豫想高	六、三三三
差引輸出餘力	五、九四〇

備考本表はリンターを含まず

であつて今年度の米棉輸出餘力は五百九十四萬俵に過ぎず戰前十ヶ年の平均輸出高八百十四萬二千俵に比較して減少の甚だしきに驚くのである。然も右は米國の消費を昨年度に同じと見ての計算であるが、最近の情勢より推して多少の增加は必定であり、且つ國內在荷として少くも五十萬俵前後の保存を要するから、結局今年度の米棉輸出餘力は五百萬俵前後に過ぎまいと思はれる。即ち漸くにして昨年度輸出量を充たし得るに止まり一昨年度輸出高六百三十一萬六千餘俵に比較すれば、米國在荷を一俵も殘さず輸出に充てるとしても尚約五十萬俵の不足を告ぐる次第である

擔保貸出
全鮮銀行增加

全鮮銀行二十本店百三十八支店及內地銀行五支店における九月末現在商品擔保貸出は一千一百九十九萬七千七百六十二圓にして前月に比する時は三百八十七萬五千七圓の減少を來し中朝鮮生産品に於て三百八十三萬五千三百二十三圓移入品三萬九千六百八十四圓と何れも減少し之を更に昨年同期の千四百八十一萬四千九百九十一圓に比する時は二百八十一萬六千三百二十八圓の減少にして一般に漸減の歩調を辿り殊に十一年度にありては一月より四月迄は三千萬圓を保ちたるも五月に入りて二千萬圓と急減し八月に至つては更に千八百萬圓に減少し九月には更に千八百萬圓臺を破り十二月に至つて幾分恢復して二千萬圓臺に恢復したるも今年に至つて再び二千萬圓臺を上下しつゝあつて一般財界の不況と共に漸減傾向を示したが更に最近に於ては內地震災直後の影響を受けたると一方各金融業者の警戒方針に出たる結果一層減少を示したものらしい

地方回收
大分好くなつた
高橋山口銀行支店長談

震災以來鮮內各地方の銀行其他が一時に退縮した結果手形の仕拂ひが延滯する傾向があり商人も困つたやうだが最近米穀の出廻りが日に好になつて來たので銀行其他も大分に增加すると共に地方の金融が良手を緩めて來た。其好影響を受けて最近回收は著しく順調に向つてゐる。米の金融に就ては未だ需要は出來ぬが內地は現在の金融は兎に角年末に比し幾分逼迫を來しはせぬかと思はれる、是には種々の原因があるが無益の濫用も確に其一因であらう、無論無謀にも擔保を取つて緊く迫つてゐるのもあるが多少金利を擴つてゐるのだから落札に於ては益々苦痛に陷るばかりだ。或る方面の話に依ると最近接近して歳末と年二割以上に驟ると云ふから時節柄結構な事だが小商人中には店舗の賣收以上に擔金をしてゐる者もあるとの事で自然破落は盛んになり益々惡影を醸すに至るのであらう

海外相場
十六日着電の

日本	四三六	▲九六
其他	一五〇、	三五
合計	一五四九	減三四六

英米國為替 四弗三十三仙四分の三（二分の一安）

スチール 九十四弗四分の一（八分の三高）

アナゴンダ 三十八弗四分の一（四分の一高）

倫敦銀塊 三十二片十六分の三

米棉 七十錢高

商品市況

鷄卵（保合）出廻旺盛期を稍々過ぎたれば相場は堅合ひ模樣にて在來種三圓八十錢乃至四圓本改良種四圓六十錢見當である目先きに就てはヂリ高を豫想せられるべく年末には三五十錢は暴騰すべきかと云はれて居るが金融關係上さして高値も見せざるべく山東卵の入荷を顧慮するものがあるが今の處目立たない相場は在來種より二十錢下りの處にある

牛肉（不變）需要期に入つて商盛の模樣なれ共相場は軟調を脫せず牡牛枝肉百斤三十五六圓と變らず目先に就ては牛價及び牛皮相場等より察し市場の消費料より考へても不變なるべきかに察せらる

セメント（豫算影響）取引時期は既に過ぎて相場も變らざれども咸興線の工事その他港灣修築等政府事業の一時的中止若しくは繰り延べは相當來年度の需給關係に及ぼすべく察せられる北鮮方面明年度の需要量は約十五萬樽と稱せられ全鮮消費量の五分の一に當つて居たのであるがこの半數は不用となるやに察せらるるも震災地の復興により多量の需要あるべければ全般的には寧ろ需給の調節となならう

綿絲布（稍保合）米棉一圓四十錢高銀塊登片安にて三品前寄貳圓高なるも先日來の足取り愈々不味頭打ち模樣なり現物も從つて保合なり仲間商況依然盛況の儘なく投資買占筋も一思にて還行の

粗布三エー一百五十八圓九龍二百五十三圓大エー一百四十八圓金剛山二百二十八圓金剛百十六圓白頭山百七十六圓煙管百十圓長鼓二百十二圓藥鐘二百一十圓　細布飛犬（十三封度）十三圓六十錢世樂鳥十四圓　晒金巾進軍十三圓四十錢金郵十二圓七十五錢　綿絲圓山（十六封度）二百六十五圓双女二百三十七圓　晒木綿竹一圓十錢株一圓四十八錢

鮮魚（閑散）寄物は入荷少々ありたれ共市場は前日來と變らず一般に閑散なり　たい四十圓小たい五十圓車えび八十圓もえび六十圓ぶり十八圓さば八圓さわら二十五圓あなご十五圓ひらめ十五圓たこ十二圓あわび二十圓にべ十四圓

不渡手形激減

十一月上半中京城手形交換所不渡手形は枚數四十一枚金額四千五百九十三圓四十三錢にして之を前月同期の不渡手形五十三枚一萬二千十七圓四十錢に比較すれば枚數に於て十二枚金額に於て七千四百二十四圓十七錢の各激減を示して居る

振替郵貯現在

銀行集會所調查十月末日現在の遞信局郵便貯金及び振替貯金高は郵便貯金人員百六十萬九千百一人金額二千十萬二千七百七圓九十八錢入振替貯金一萬二千百十三人八百八十八萬九千四百八十五圓六十六錢にして之を前年同期の現在高に比較すれば郵便貯金は人員三分八厘金額一分六厘の各增加あるも振替貯金は之と反對に人員に於て九分三厘の增加なるも金額に於て二分四厘の減少を示して居る今之を詳記すれば左の如くである

種別		本年十月末日現在	前年同期現在
郵便貯金	人員	一、六〇九、一〇一	一、五五七、[illegible]
	金額	二〇、一〇二、七〇七	[illegible]
振替貯金	人員	一二、一一三	一一、一[illegible]
	金額	八、八八九、四八五	[illegible]

瓜哇糖輸出減

紐育商業所報告に依ると瓜哇糖の十月中に於ける輸出高は合計十五萬四千九百噸で前月より三萬四千六百噸の減少である仕向け別を示すと（單位百噸）

	十月中	前月比較（▲減）
英國	一〇九	▲四九
歐洲諸國	一一三	五三
印度	三六七	九七
香港	三一九	▲一一九
支那	五五	▲五五

雜記帳

▲內地米作第二回收穫豫想に依ると昨年の實收に比し七分七厘減の五千六百萬石でこの數量に依つて明年度需給關係を換算すると五百七十萬石の供給不足となるらしい▲この內に對鮮米の移入高四百萬石を見込んであるから此方面の供給が增加せぬ限り之が補充を外米に求むる外は無い譯だ▲この供給不足から米價の前途を樂觀してゐる者もあるがシテ騰貴に依る一時的の相場が出るかも知れぬが政府の施策宜しきを得てゐる今日大した波瀾は起らぬと見るが至當▲鮮米の移出は年々著しい增加を示し內地市場に於ける地位も漸次主要及び實需業者に認識されてあるので米相場の騰落は或程度迄內地相場を支配するであらう▲目下移出旺盛期に向つて居る關係上一杯の相場を動かすものは鮮米だと見てゐる向きもある、

株式（十六日）
頭重き商狀
前場は保合　後場は區々

昨後場大引後大阪大新の大引七十四圓八十錢の下値ありしも今朝七十五圓七十錢の引返しを入れ跡小高き入電と共に大新は七十六圓六十錢を高値として六圓四十錢と打止め七十錢方引返しを告げ仁取安取は出來ざりしも仁新は三十二圓ドダと小高く京取は當蒸らざりしも先三十二圓六十錢と引三十錢方小締り其他は出來ず大體に於て依然たる商內に大引した後場は大阪大新七十六圓ドダの寄り付に跡五圓七十錢の下押しを入れて一部の手食ふ立となり大新は七十五圓六十錢と押し八十錢安に打止めたが仁新は五十錢方京取は當三圓二十錢先三圓十錢と新値に進み三五十錢方引締り區々の成行を示し其他仁取安取は出來ず雜株期も一層に見送られ大體に於て依然不振を脫せず不勢に大引した

好勢持續は疑問

大新は昨大引後七十四圓八十錢の下値を入れ今朝七十五圓七十錢の引返しを入れしも頭重き振合があり人氣漸く軟化の模樣なるも軟派は過般來苦き經驗を嘗めたることとて人氣の爲には賣り難ず却つて小口手利喰ひの爲に出でつゝあり買方亦須來の商狀に警戒せると既に買越の氣味もあつて見送り姿大阪の浮動狀態と共に商狀全く保合化するに至つた大新以外は殆んど氣が乘らず僅かに一二本のかけ引でお茶を濁ごし雜株の如き無商內に終るの閑散を呈し今後の商狀に對しては依然大新の如何が目標せられつゝある有樣で目先活況は望み難き商狀であつた而して大阪市況が斯く鈍調を呈するに至つた原因としては例の火災保險問題行惱みと米綿安に伴ふ綿絲の暴落等周圍の事情が漸く軟派に味方せんかの振合があつて一般の人氣が漸く軟化の傾向を呈して來た爲めで斯る形勢の推移は自然買氣を損することも勘しく今後の商狀に對し一頃程の期待はドーかとの懸念を生ずるに至つたと稱せられて居る要するに今後の商狀は何等か有力なる材料の現はれない限り鈍調を脫することは至難とせられて居るが只目先の材料となつて多大の注意が拂はれて居た東株市場の清算取引が十四日から再會することであるが電線の故障から前場大引迄には何等の情報が這入らなかつたが今朝大新の步調から見て東京市場の蓋開けも期待された程の事なく極て平凡なる商情に終つたものと觀測され大した期待が裏かれて居ない事は頗る疑問とせられて居る殊に綿絲市場が昨今の如き商狀を呈するに至つたことは强氣側の非常に苦痛とする所であらうとの觀測から京取其他の地株

買方の態度

大阪の市況が昨今の如き鈍況を呈し人氣は漸く軟化の傾向ある折柄此際に於ける買方の態度は一般注意の的となつて居るがマバラ小口は別として田中、新田筋の買玉は尙相當數量を占めて居るが此の邊の低落ではまだ相當の利が乘つて居り何等の懸念を要せざるのみならず是等買方の腰は依然堅く揺ぐべからざるものがあり目先の小鞘合を目標とせる策戰ではなく少くとも一年半年位の長期計畫に外ならないから夫れまでは株價を保つの態度で口管持久戰を張るのは勿論だらうと解せられて居る

今後の大新

大新は昨今火災保險問題緊急勅令の際局に對し島田理事長を始め重役の撤廢を强要し人氣亦漸く軟調を呈せんとしつゝあるが前年各種の新事情が現れんとする有樣で例の保管料問題に對し島理事長が相手取り信託財團の檢査及檢査役の選任方を其筋に申請し觸念政變の明暸を計らんとする實行があり綿糸市場の鈍況に因る新綿株暫減人氣と相俟ちて今後に對する悲觀の氣が現れだしたと云はれて居る

東京市場の觀測

十五日蓋開け後の東京市況は今前場に至るも電線故障の爲め何等の報なく人氣は東京の情報待ちの氣分で硬軟共に之れに依りて手與りとんかの振合であつたが東京市場は過般暗かりの中に一巡步騰した爲め句丈に盡を開けて高ければソコが天井ではあるまいか特に電纜のない市場に於ては到底圓滑なる取引の行はれる望みはなく自然商內の少ない爲めに賣物に驚せらるゝの結果とつたのではあるまいかと見られて居た

依然兩者の對戰

京取株は大阪の鈍況に人氣稼はず極度に警戒見送られつゝあるが取組は新田二千枚の買に對し吉見二千二百の賣で其他は定源賣り田中然新田對吉見の對戰である大阪市場の買が目立つて居るに過ぎず依然兩者の對戰のまゝに推移するの外なく況は昨今の如く鈍況を呈し周圍に多も積極を入れる程勇氣のあるものはなく矢張兩者對戰のまゝに推移するの外なく現在では賣り難く買ひ難い破目に陷つて居る昨今大新の利喰を大手擔ました新田筋の大新に對する軟化模樣のあることはやがて京取の戰に對する牽制か積極的態度に出づるかの下準備ではないかと觀られ注意を惹いて居た

大新其他本日歩

今十六日前場現在で大新二百四十枚仁取は十枚仁新は百三十枚と何れも株過剩となり本日步に復した

井口仲買店復活

久しく休業中であつた井口仲買店は今回諸般の整理完了し今十六日後場から開業した尙後援者の關係から今後は大阪方面の取引にも力を注ぐ由

諸株喰合尻
十六日前場現在

▲大新三、一三〇代引一、二四〇
▲安取二七、七三〇代引一、八一〇
▲仁取四二〇代引一〇
▲仁新一、七〇〇代引一三〇
▲京取當三、三六〇提供五九〇
▲同先一、九三〇提供三六〇

出來高 ▲累計三十一萬七千六百四十枚▲短期九百五十枚二十五萬三千三百

算定 仁新三十二圓　大新七十二十六圓

日步 ▲朝紡五錢、拓新十錢▲仁取四十錢、仁新十錢▲安取十錢▲京取十錢　大新四十錢

前場手振 ▲京取當田中、吉見、市川　▲同先白井、田中　▲仁新　新田、定岡、中村　▲大新　李、百、白井

現株中値出來値（十六日）

銘柄	前場 當限	前場 先限	後場 當限	後場 先限
京取 寄	三三・八〇	三三・二〇	三三・八〇	三三・二〇
引	三三・五〇	三三・三〇	三三・三〇	三三・二〇
仁取 寄	九九・〇〇	…	…	…
同新 寄	三二・五〇	…	…	…
鮮銀 寄	五六・〇〇	…	…	…
同新 寄	六・二〇	…	…	…
殖銀 寄	四四・三〇	…	…	…
同新 寄	二一・五〇	…	…	…
實業 寄	…	…	…	…
商銀 寄	四四・五〇	…	…	…
同新 寄	…	…	…	…
漢銀 寄	五五・五〇	…	…	…
同新 寄	一七・五〇	…	…	…
東拓 寄	三六・〇〇	…	…	…

銘柄	前場	後場
同新 寄	三三・八〇	…
鮮土 寄	三二・〇〇	…
朝紡 寄	…	…
滿毛 寄	四〇・〇〇	…
京電 寄	…	…
同新 寄	一〇・五〇	…
電興 寄	三四・〇〇	…
釜山産 寄	一八・五〇	…
朝郵 寄	三三・五〇	…
南京 寄	八・五〇	…
金剛 寄	三三・〇〇	…
鐵綿 寄	四八・〇〇	…
東拓 寄	一・一〇	…

短期取引

銘柄	寄付	大引	高値	安値
大新 前	七六・四〇	七六・四〇	七六・六〇	七五・九〇
後	七五・四〇	七五・六〇	七六・〇〇	七五・六〇
仁取 前	…	…	…	…
同新 前	三三・一〇	三二・一〇	…	…
朝紡	…	…	…	…
取引所	…	…	…	…

大阪長期取引

銘柄	十六日前場寄付	十五日後場大引
大株	九六・一〇	九五・二〇
同新	七六・六〇	七五・二〇
鐘紡	八・九〇	八一・八〇
同新	二八・四〇	二八・四〇
商船	四三・〇〇	…
同新	二八・二〇	二八・二〇
日糖	二五・七〇	二五・六〇
東紡	一一・〇〇	一一・〇〇
同新	九七・〇〇	九六・九〇

大阪短期取引

銘柄	十六日前場寄付	大引
大新	七五・七〇	七六・二〇
鐘新	二六六・八〇	二六八・六〇

安東株式

銘柄	十五日後場寄付	大引
安取 當	一五・〇〇	一五・三〇
先	一四・八〇	一五・〇〇

銘柄	十六日前場寄付	大引
安取 當	一五・三〇	一五・二〇
先	一五・〇〇	…

鎭平銀

○十五日後場寄付　當限一・二四〇　大引一・二四三
先限一・二四九　大引一・二五〇
○十六日前場寄付　當限一・二四一　大引一・二四〇
元限一・二四八　大引一・二四四

米況（十六日）
仁川期米
前場伸惱み

昨後場阪堂地の伸惱みに二十七圓五十錢と小強に打止めしも今朝大阪寄無三十三圓二十錢と二十一丁高に再び强氣の買氣を擱致なし當出來ず中二十六圓八十錢先二十六圓六十錢と十丁高に寄付

▲第二節　大阪二錢高四十一錢と更に反發を入れ當二十六圓八十五錢中二十七圓丁度先八十五錢より七錢と締りしも大阪三圓二十九錢の小甘きを早寄せる賣物に七十五錢と押し八錢と引

▲第三節　當中出來ず先七十二錢より買方の見送りに六十一錢と押し大阪跡小戾しの暗に入錢と跳返して引

▲第四節　當中出來ず先七十錢より大阪四節三十五錢の移りに九錢と締り五錢と手堅く持合ふて引

▲第五節　當出來ず中七十錢先七十錢六十九錢と雙方の自重に焦付て引

▲第六節　當中出來ず大阪跡廿九錢より一錢の安移りに先五十九錢より六十錢と締り五十錢と押し

▲第七節　當中出來ず大阪止め三十四錢の小戾しに先七十錢と跳返して引

双方自重す

昨後場阪堂が三十三圓十四錢の高値を移した際は當所も二十六圓九十五錢と吹上げたが今朝の阪地一段高には上足鈍く却つて阪地と反る季節柄の自重氣配で大口手合は見送り形勢の變化を待つ向が多い模樣と見られ、のと季節柄例の買方の申合せた買入の實行を目にして未だ手出しを差控へて居るものと見られ其の間漸く高い賣買を大口の見合を見るとの話もあるが仲買は目下の形勢が一巡したら寧ろ何分の値段が大きな反落を示し今の處大口筋の肝腎の手が動かぬので大勢は捗々しからぬものと見られて居る

鮮米の壓迫懸念

買方の頼みとせる第二回豫想の減收は旣に發表され其に對する相場も前日の高値を以つて一巡したらしいが此の次は今月二十日頃發表の警で之れが强氣の擴張り案外に揺ないとすると相場も亦一と反撥は免れなからう然し政府で決鋼した撥發令の撤廢も帳當院側の反對にあつて假りに撥發の必要もなく生活の安定を脅かす事となつて政府も亦何時上げの必要を認めるとしても撥發は困難であり鮮米の入津も日々增加して來るし群山の如きは去る十一日出帆の安南丸で六萬俵の米を阪地へ移出されたと傳へられて居る等此の調子を以つて一巡阪地へ鮮米が行き渡づたなら自然正米の强硬も緩和されて居るが定期にも影響を及ぼし局面轉換の機を早むるやも知れないと觀測して居る玄人筋もある

米界餘聞

新米季節にも拘はらず還應なく上るは上る一體何處まで行けば米助の虫が納まるのやら頭張り見當がつかなくなつた▲かうなると買方の懷は肥へる一方で賣方が稱侵を受けれは張る程皮肉に來たがるのだから相場と云ふ奴は實際始末におへない代物である▲或玄人筋は曰く之が新米季節でなかつたら買方も早く締めをつけるので天井を打つのが案外早いかも知れないが何分最前に米山時代を控へて時代の好い高値に心を張る時もあり一巡したのだと云ふ人氣がどうしても放れない爲め却つて賣方の方から相場を高くして居る樣なものであると▲成程相場が少し騷目を見せると寄つてかゝつて叩く割りには捗けずして其の賣物が一巡すると直ぐピンと跳返し先の高値を上廻る處なんかは確かに其の間の消息を物語つて居る▲すると賣方も未だ暫らくは季節に惚れた因果として相場に身上りせなくては納りがつかないのかも知れない

後場七圓臺

▲第一節　當中出來ず大阪後寄三十三圓四十二錢の小高移りに先二十六圓七十九錢と九丁高に寄付

▲第二節　當中出來ず先七十七錢より入錢四錢と姓合ひ七十五錢引

▲第三節　當中出來ず先七十錢より七十七錢と押したるも大阪の暁かに跡八十六錢と跳ね三錢引

▲第四節　當中出來ず大阪の高時に先六圓八十五錢より七圓十錢と關進し七錢と强硬に引

▲第五節　當中出來ず先九十入錢より四錢と押し入錢と持合に引

▲第六節　當中出來ず先七圓〇一錢大引

賣買差引殘

	賣	買	方
㊀	三三〇〇	㊀	二七〇〇
㊁	一八〇〇	㊁	一四〇〇〇
㊂	[illegible]	㊂	一四〇〇〇
丸大	四〇〇	九久	九〇〇〇
豐	一〇〇〇	知	四〇〇〇
丸	三〇〇	㊀	三〇〇〇
		丸三	三〇〇〇
		丸タ	一〇〇〇

仁川期米	十六日前場	十六日後場
寄付	二六・六〇	二六・七九
高値	二六・八七	二七・〇一
止値	二六・七〇	二七・〇一
安値	二六・五〇	二六・六九
○前場公定値		後場公定値
一節	二六・六〇	二六・七九
二節	二六・八〇	二六・七六
三節	二六・六五	二六・七九
四節	二六・七五	二六・九九
五節	二六・六九	二六・九七
六節	二六・五五	二七・〇一
七節	二六・七〇	
殘入限 當中先	二一六・八五	
殘組高	一萬〇七百石	
出來高	一萬八千四百石	
累計	三十六萬五千二百石	

夕 仁川米豆取引所 仲買店　仲買人

仁川正米

賣人は二三十錢方の上値を唱へて賣惜ぜず買人としても採算上それ以上には進み難き模樣なれば現狀商談行惱み勝である

合格現物は品薄の爲め定期高の牽制を受けずり〳〵高の丸キ二十八圓四五十錢を唱へ前日より二三十錢方の高氣配なるも地場玄米は現の入津薄により其の割り人氣引立たず二十五圓八十錢より上物六圓見當の持合ひ落にて取引又た神力八錢一厘在來種に錢七厘見當の變らざる唱へにて大豆は品なるも季節柄買人の見送りにて龍山物十六圓見當十五圓七十錢白川十五圓五十錢處である

釜山正米

現物二十九圓二十錢十二月中限二十八圓十二月末限二十七圓五十錢より七十錢一月中限廿七圓四十五錢より五十五錢出來高七千石大豆十五圓

群山正米

現物三十圓十一月中限二十七圓二十錢十二月末限二十七圓三十錢より二十三錢一月中限二十七圓十錢より四十五錢出來高二萬石

大邱正米

現物二十七圓八十錢十二月末限二十八圓八十錢より九十錢一月中限二十六圓八十五錢より八十錢出來高二萬二千石

東京期米

	十六日前場	十六日後場
寄	三五・一九	三五・四一
二節	・二九	・三六
三節止	・二七	・四〇
四節	・一九	・二九

大阪期米

	十六日前場	十六日後場
當寄	三三・〇九	三三・一六
止め	三三・〇五	三三・一〇
中寄	三三・〇五	三三・一四
止め	三三・〇一	三三・八九
先寄	三三・二〇	三三・〇四
止め	三三・四一	
二節	・四〇	・四六
三節	・二九	・四〇
四節	・三五	・九九
五節	・三九	・八九
六節	・二八	・九九
七節	・二六	…
八節	・二一	…
九節	・二一	…
十節	・二四	…

仁川米豆取引所仲買人 豊仲買店 電話長…

兵庫期米

	十六日前場	十六日後場
寄付	三一・七七	三三・〇十
止め	三三・〇四	三三・五三

下關期米

	十六日前場寄付	止め	十六日後場寄付	止め
當限	…	…	…	…
中限	…	…	…	…
先限	三一・五五	三一・五五	三三・〇四	…

桑名期米

	十六日前場	十六日後場
寄付	三三・六五	三三・七五
止め	三三・七〇	三四・三五

大阪三品

	十六日前場寄付	前場大引
十一月限	二六一・〇〇	二六一・〇〇
十二月限	二六一・三〇	二六一・二〇
一月限	二六二・〇〇	二六三・二〇
二月限	二六三・〇〇	二六三・八〇
三月限	二六四・二〇	二六三・八〇
四月限	二六四・五〇	二六四・〇〇
五月限	二六四・〇〇	二六四・〇〇

	十六日後場寄付	後場大引
十一月限	二六〇・〇〇	二六一・〇〇
十二月限	二六〇・二〇	二六一・八〇
一月限	二六一・八〇	二六二・〇〇
二月限	二六二・五〇	二六二・五〇
三月限	二六三・〇〇	二六三・〇〇
四月限	二六三・八〇	二六四・〇〇
五月限	二六四・〇〇	二六五・〇〇

京城穀物
正米現物

期米高と　山正米の一揃々頭强に傾き地場段高に買人は殆と皆物隱れの姿である合格品は殆と地場玄米の四等著値二十八圓三十錢に僞して賣物を需らしつゝ來るも白米は頭の出廻り漸増に連れて地擠りとの採算上入圓以上は買つて引合はずして進入なく京畿米筋の多くは地物に賀氣を傾けつゝあり相場としては神力二千五圓七八十錢より上物一圓一杯總殼神力七錢見當の唱へである

延

十二月末限二六四〇▲　一月中限二六五〇

大豆

連日の斯米强調に連れて本品も先行き好轉を期待され手持筋の賣腰漸次强く今朝は京元線今月渡し十五圓七八十錢來月二十日渡し十五圓一杯長湍ィ五圓六十錢處の買唱なるも

神戸に於る鮮來

一昨日米仁せし神戸取引所の常務理事一行の語る處に依ると神戸に於ける一ヶ年の消費米の七步以上は鮮米であるから自然の勢ひで明年の三月限からは標準米を幾分格下げして四等級の鮮米を上は內地米同樣に受渡しを設勞取引に改め取引所の機能を充分に發揮せしむる方針だとの事である若し其れが實現されるとなれば當所で受米して神戸に移送しても不合格となる憂ひが全然なくなる譯で內地との取引は一層密接になつて來るであらうと云はれて居た

大阪後場沸騰

第二回豫想の減收發表に人氣を高め來りたる折柄更に支那米輸出解禁取消し說を傳へて此一兩日來急に人氣を沸騰せしめた大阪は今朝のヂリ高にて大後場は一段と買氣を煽り寄付卅三圓四十二錢より九十九錢と吹上げ遂に四圓の關門

通俗太閤記
二百九十七回
松林伯知講演　加藤由太郎速記

二十七日には例の新黑谷本寺の御庫を假に佐久間右衛門尉、荒谷九右衛門、蜂谷兵庫、堀九郎左衞門、菅井夕庵、松井夕閑以上六人を奉行といたしまして御箱に從つて一寸八分を開分けて拜觀をいたしました、これは足利義政公が嘗て拜觀いたしたことがあるさうでございます寶にどうも天下の珍品、信長が織々御願ひ申上げて勅使が二人御都に立つて僅に一寸八分を下さると云ふのであるから以て瞭ずべしでございます、夫に於て信長は聊か御の處なきを陛下の臓に示さん

むかく天王寺に陣を構へて佐久間右衛門尉を從し、自分は一應京都へ上つて御暇乞ひを申し上げ、五月二十八日に岐阜へ入城をいたした、あの地に於て默々思召すには「何うも門徒の邪魔になり、殊に伊勢の國長島は彼等の門徒等の根據地なれば先づこれを討滅ばさん」とあつて七月十三日に伊勢國へ出陣あり、此時は信長信忠の兩卿は勿論北畠信雄、神戸信孝をも催促ありて總軍十萬餘騎、三方より攻させ玉ふ、抑も長島と云ふ土地は美濃より流れ落つる木曾川の沿岸にして、南は伊勢の大洋渺遠く八重の潮路を

縦に、一揆の城郭道々に立籠もれ七月より九月までの間に陥落、聊かく攻め落され長島平定になりたり此時も味方に於ても織田大隅守信廣、織田半左衛門、津田市之助信成、其他數百の人々討死をいたして居る、信長は樣子には惡存じたが眞に長島平定をいたしたのを以て初めての心遣りとして、長島の城をば北伊勢五郡に兼ねて瀧川左近將監一益に賜はり十月十五日諸勢を引揚げて岐阜城へ立歸られる、其內に其歳も僅日しか暮れて明くれば天正三年二月二十七日伊勢父子また〳〵上洛あり岐阜を立ち國寺を本陣となさる、然るに其頃今川上總介氏眞は先年武田信玄に領國を奪はれ畿內を流泊いたして居りましたが、信長上洛と聞いて是も同じく上洛し信長に對面した

京城明治町二丁目
中央婦人科院
院主 衣笠茂
電話三三四〇番

京城明治町一丁目
佐々木胃腸病院
入院隨意　電話本一六五九番

高級京染（見本御請求次第進呈）
みのや呉服京染店
京城本町四電話本局一四六二番

大阪京染呉服店
正月用縮緬期日（三十五日限）
染模樣附同廿日限
黒羽二重色紋付同卅日

ため、右職者等の名香を三つに分りまして二つをば柴田、佐久間、丹下、蜂谷、荒木以下の面々に分與をしたさうで、後に木下藤吉郎はまたこれを自分の部下加藤、福島、片桐の面々へ分け與へた、然でなければ見えなかつたとのことであれば京都にて織田信長が鹽香得の名香を主上より下し賜はつたと

隣で要害堅固なること無比を見ず其故に隣國の溢人あぶれもの抔を頼みて身を寄する者數限りなく、附近の百姓町民を煽動して一揆など起させ、これに將として城廓を構へ、塀、櫓、逆茂木等を結び廻らし柵圍つて居る人數は幾らあるか分りませぬ、以前織田信長は二度攻めたことがございますが、充分志しを得ず玉はらざりしを今度こそは根絶やしにせずば、立歸らじと云ふ決心にて斯く大軍を召連れて出陣いたされた譯でございます木下藤吉郎秀吉は今度の戰には加はらず自分は小谷に在城して中國の押へとして木の本に蜂須賀阿波守を置いて堅く守らせ信長公進發の御供には今兼木下小市郎秀長を大將となし人數ばかりを差添て遣はされました信長は諸手に嚴しく下知して攻め立つる

腰は其城主を擁し與れんと思ひ矢先なれば上洛を幸ひ勵律に出勤ありて石山本願寺を攻めましたて門徒等必ず心一致して能く防禦する、迚も二月や三月では石山陥落することは出來ませぬから、止

義太夫界

▲三味線研究會　舍の連中で三味線の稽古をしてゐる某々數名が今度三味線研究會を組織するとの事▲新居君の朝稽古　內地へ行つた志賀喬居君は旅行勝ちで毎月四五回より稽古をせぬが其時分には午前六時に必ず起きて御前に稽古に勵むとは寒ひであるが只今の稽古には豫國太夫が必ず出張したとは是れも變り者▲稽古熱心者　各種目に於て年中殆んど無休で稽古してゐる連中を調べた人の話に御鶯會では唐尉、稲江、和鹿會では素竹、吉彌、睿春、龍米會では松鶴、陶雅、浩風會では千歲、寒月、清居、新樂會では二段、繁笑、梁二、謙會では綠、にしき、三曲、皆發會では登鶴、登洲の諸君だらうとの事▲糸玉の腕　山口糸玉老は何よりも三味線が好きで朝起きた時と寢る前に調子を合せぬと濟散が下らぬさうだが大層三味無しの獨り稽古をやるので近處で評判だが稽古を休んだ晩には近處の人々『退屈だ、やつて貰ひたいナア』

○「ません」は中々熱心なもの▲皆様の獨り稽古　皆春君毎晩自宅で三味無しの獨り稽古をやるので近處で評判

教習巡査卒業式

本府巡査教習所に於ては十四日午前十時半より卒業式を擧行した卒業生は二十二名で夫々各署に配屬された（光州）

十一月十八日
（舊曆十月九日）

▲二黑▲喧嘩▲未申▲日曜
▲乙未▲先勝▲成▲易宿

▼二黑▲欺かれ易い日輕々しう動くことを戒め人の意見に從うて不利東と南が吉
▼三碧▲物事中途で挫ける日障子に乘り過ぎては損する西と東が吉
▼四綠▲我儘を通したい日それでは結局が面白くはない東と乾が吉
▼五黃▲外から波ぎ込まることがある世話事ぱへて利東と南とが吉
▼六白▲穩便を計り來る日諸事溫むほど有利緣組開店金錢等吉
▼七赤▲目上の引立を受け出世の緒に就く日電して進んで利巽吉
▼八白▲如何に焦燥つてもすべてが無駄骨に終る日東と南と北が吉
▼九紫▲居ながらにして大利を占むる日大きな取引殊更有利乾が吉
▼一白▲働き甲斐少き日縁組金錢求職其他凶西南と北と西が吉

關釜連絡船

釜山發　午前十一時　午後九時三十分

十六日　朝、昌慶丸　夜、景福丸
十七日　朝、昌慶丸　夜、景福丸
十八日　朝、昌慶丸　夜、景福丸

青年に日本魂あり
普選問題と勞働者

有田音松

（大阪朝日新聞十一月五日掲載）

(問) 近日來度々新聞紙上にな りました御意見で、吾々も大に敬服する所がありました。私共は新人一派殊に社會主義者や、その同じ味の人々は、吾々勞働者や、貴者の味方であり、プロ階級の救濟者であるとのみ考へて居りましたが、大杉榮の罪惡といひ、有島武郎とか、武者小路實篤とかいふ人々の、不仕鱈な行跡を見ては、實に愛想が盡きました、かやうな

不眞面目な

連中の著作物を愛讀して、それに心醉し、それを新しい說だの、新道德だのと信じて居つたとは何といふ馬鹿げた事でせうか

それにつけても、吾々が非常な興味と熱誠を以て觀て居りますのは例の普選問題です

愈山本內閣は之が實行に着手するらしく、新聞は報じて居りますが、如何なものでせうか

尠て貴方の普選反對論は承知して居りますが、本日は大に徹底的に御意見が伺ひたいものです

(答) 新設內閣が、普選案を出すといふのは何といふ態度か、予想か、我政界の現狀が、如何に

狂氣染みて

あるかといふ事は、この一事に見ても分るでないか

予は曩に一論文を公表して、大に山本內閣に期待する所があつたが、愈々普選案を提出するとせば實に愛想も盡き果てた次第といはねばならぬ

新設內閣なればこそ、從來の政黨政治に超越して、國に理想の政治をやつてくれる事と樂みに思つたが山本も犬養、後藤といふやうな野次馬に引つ張り廻されて、途方もない馬鹿氣た提案を立てたり、今度は又

禍にもない

普選案なんていふ、國體に合致しないものを、持ち出すなんぞは、實に見さげ果てた仕打だ

普選論者が、佐藤だ、平等だといふ言葉に浮れながら、普選が實現だなんて、御の國下げて、そんな不穩な政論が出來るのか、實際な事件、實にもいへた義理のものでなからう

普選と普選論、郎ないふ度肉體にも、よ、こんな國體な提案はまア普選の會の來議に無からうねエ、いくら

人氣取政策

政黨政治の世の中だとて、苟くも陛下一人に對し奉つて、國民の到りであり、下萬民を無視した遣り方ではないか

現に角今の世の中は、上流社會も智識階級も、どれもこれも皆にはならぬ、イヤ皆にならぬ計りか思想を惡化し、風俗を亂す者は實に中流以上の階級である

その間に在つて、予の最も讚賞するものは、實に青年や、勞働者のみである、殊に諸君の如く、誠に汗して職の人間生活を爲す勞働者諸君は、あらゆる階級を通じて、最も眞面目なる者であると、思考するのである、そこで予は

普選と勞働者

といふ問題に就て、青年や、勞働者に意見を述べたり、又聞いても見たいと思つてゐたのである

(問) イヤその點に就きまして、我々も本日は伺ひましたので、實は吾々も、一時は例の新人一派と稱するデモクラシーや、勞働ブローカーの流行說に誤られ、社會主義が實現し、普選が實行されたならば、今にも極樂淨土が來るやうに思つたのでありますがイヤもう

獨逸の現狀を

見ましても、露國の昨今を見ましても、ルーブルや、マークの暴落は、底知れずの下落で、實際破産狀態です、支那の樣子を見ても、どれだけ吾々の日本に生れた事が、幸福であるか分りません、不平などいふては祖先に對してすまぬ次第であります

然るに流行熱に浮かされて、普選實行となつて、愈々政界が腐敗墮落でもしましたならば、この先我日本は何うなりませうか、獨逸や、露西亞や、支那の二の舞を踏みはしまいか、かやうな事を考へ出すと、夜の目も眠られぬ位に心配します、何うかこの點に關し、御腹藏なく、御意見を伺ひたいものです

(答) 諸君がそこまで覺醒したのは、そこが日本人の特長である、我々の祖先は儒教(支那思想)の這入つて來た時も、佛教(印度思想)渡來に際しても、又近くは

耶蘇教思想

基督教渡來時のでも、丸吞にはしてゐない、之を能く消化して、日本化して、我物に同化して來つたのである、こゝが日本人の偉い所である

今日我國に於て、洋服せず、洋化せず、眞に日本魂あり、武士道の意識ある者は、之を青年なり、勞働者に見る事が出來ると予は斷言する者である

今日のこの腐敗せる現狀を救ひ得る者は、實に青年と勞働者のみである、彼の智識階級と稱する學者や、新人一派なる者を見よ、彼等は實に日本男子としての面目なきのみか、人間としてその風上にも置けぬ人物共ではないか、官吏社會の

綱紀弛廢せ

るは世人の等しく認むる所であり、政界の腐敗は實に其の頂點に達し、職業的政治家に依て、我立法府は組織されてゐるの觀があるを察して、上流貴族や富豪の徒は誠に風俗を紊して、惡感化を子女に及ぼすといふ、國に喪亂すべき狀態である

かく論じ來るの時、我日本の前途は悲觀より仕方なしといふべきでないか

而も世間に在りて、剛健なる青年、殊に勞働者諸君が、能に我古來の武士道なり、大和魂なりを體得して、働いてゐるといふ事は實に心強い次第である、然るに

貴族富豪の

徒は、徒らに飽食暖衣して、識者の手に擬はれてゐる一種の寄生蟲ともいふ可きである

斯の如き社會狀態を見たる所謂新人一派は之を利用し、此機に乘じ、我忠孝を基とせる、國體を紊るやうな事に出で、先づ貴族、富豪の墮落、政治の腐敗、社會の缺陷を攻撃反駁して、茲にデモクラシーや、共産主義や、無政府主義、又は平等主義、ヤレ新マルサス主義の、戀愛萬能だの、戀愛至上主義だのと、種々青年や勞働者を煽てあげるに都合のよい題目を選んで、それに不合理極まる普選論を附け加へて、諸君を煽上に惑はせたのである

斯の如くにして、一時、一部の青年や、勞働者は、普選運動に熱中して

示威運動など

をしたのである、が、中途翻然として、その非を覺り、全國の勞働組合は全然その主張を換へて、普選運動を一擲したのであつた、之れ勞働者諸君が、新人一派が國體の破壞者であることを知ると同時に、我に我國家の成立を知り、その國體の如何を解して、茲に日本男子としての自覺を得たわけである

西洋の毒物を咀嚼して、危險思想に化れ、醜譯漢となつて、西洋化れのした者共は

我國古來の忠孝を目して、時代後れの、舊道德のと罵り、我國特有の日本魂を以て、時代錯誤の遺物など、全で外國人のやうな口吻を以て、己れ自身を漫罵するのであるが、彼等に果して如何の守操あり、如何の道德あるか

彼等には道德も宗教もあつたものでない

戀愛至上主義

だなど、途方もない謬說を持出し

戀の爲には親も子も棄てよ、忠も孝もあるものか、姦通であらうが、私通であらうが、恬として耻みないで誰とでも何處でも勝手に〇〇〇

之が眞の自由戀愛であるといふやうな事を臆面もなく、唱へ出し、まだそれでは足りないといつて、自らその手本を示した者が有島武郎と武者小路實篤だ、それから一層醜くしいのになると、そんな事を撒き散し、實本のチョイ感念になつて、死んだのが、大杉の〇〇博士だから、世間の風潮は何うなつたか、到る處に保護眼を入の邪說だ、戀愛論だ、ダンスだ、婦人會だなど、中には

姥櫻の四十面

下げて白粉をベタベタくつけ、太子靴(一名耳かくし)で、大道狹しと練歩く連中が、無暗に殖えたでないか、こんな連中が得てして、三角關係だ、四角だ、五角だと、丸で犬や猫や豚のやうな生活をする、それが今の新しい婦人であり貴婦人である、何と淺ましい次第でないか

彼の主義者の崇拜した大杉榮と野枝との夫婦關係は何うか、無政府主義だといふので、夫婦になつても入籍もしなければ、四人の子供が生れても出生屆もしない

丸で禽獸其生活ではないか、そんな連中が唱へて高調したのが普選論だ、なるほど彼等新人一派には好都合か知れぬが、之では眞面目な國民が忍ぶ事が出來ぬではないか

共和演說て

序だから話すが、抑も普選論の急先鋒といへば、先づ

文部大臣を棒にふつた尾崎行雄と、その後釜に三日大臣となつて正七位から正三位に一足飛をした犬養毅の兩人に指を屈しなければならぬ

此兩人にもこんな逸話がある、先づ尾崎から始めやう、彼の父は敬神家で、極めて嚴格な人であつた、所が例のテオドラといふ混血婦人と結婚したのであるが

普氣質の父は怪しげな混血婦人との結婚を許さず、生涯面會を許さなかつたが、愈々臨終の際、やつと病室まで忍び皆つて會つたのださうだ

彼は女房の爲に

生涯不幸の子

となつたのである、之も新しい道德であるといふのか

新人一派にはこんな事は平氣なのか知れないが、之れ明かに我立國の大本たる孝道を無視したもので、我教育勅語に示された「克孝」な克忠の大本旨を否認したものでないか、誠に畏れ多い次第で、苟くも一國文教の首位を占めた彼としては誠に不敬千萬な次第といはねばならぬ

それから犬養だ、野日新聞紙上所載の報ずる所に依ると、彼は蓄妾をしてゐるといふ、若し彼蓄妾をするとせば、彼の如きはいの一番に稅金を課す可きであると新紙は報じてゐる、聞く所に依れば

彼の蓄妾は

久しい以前よりの事であるといふ、かやうに品行のよい政治家の綱紀の正しさは正に斯の如きものである

今度の大震にしても、彼が本來の手腕であつた新設內閣打破なんていふことは、醜い策略な出鱈目で實際屁理屈を省いて勝手したではないか、非常時を名とし、今度の御大典當込みを、總花的演說にありつきたい計りの行爲大臣となり、京都は冷笑してゐる、我ゆて鳥渡一應しやう

(問) 新人一派の唱へる普選の魂膽も、國の使用も、漸くその正體が分りました、普選論に就て今少し伺ひたいものです

(答) 普選の事も述べるが

先づ彼の漢學大家に就ては、面白い話がある、過日彼の郷里の新聞「山陽新報」に左の記事があつた

○犬養翁人選相に漢學者のポチツク屋根裏で抑有ること「有田ドラッグ」が

吾輩の惡口を

新聞廣告に出しとるが、あれには困るんだよ、先に有田某といふのが吾輩の所にやつて來て、荻生徂徠の事を惡口云ふから、いろいろと說いて聞かせたこともあつたし、何か書いてくれといふから書いたものをやつた、その徂徠の一件で吾輩とりが合はぬのが一ツ、今一ツは吾輩が藥を飮まないもんで、あれの藥を買はんからだらうアハハ」だと

予と犬養とは一面の識もないのである、勿論訪問などをした事は更に無い、彼がバラバラで新聞記者に語つた談話なるものは、眞ツ赤な嘘である、彼はかやうな

出鱈目の嘘吐

であるから、予は犬養が大嫌ひなのである

予と彼との間に交渉ありとせばそれは予が嘗て「徂徠學派と赤穗の義士」を發表した當時に於て、彼と徂徠云々が手紙の往復に依つて彼の眞相を知るに足るものであつて、面識あるではないことが分るでありませう、彼は何故にかやうな一些事にまで嘘を吐くか、以て彼が人格の全貌を知るに足るではないか

今その時の書翰手紙を參考の爲めに示さう

犬養氏より予に宛てたる書狀

拜啓、貴下の「危險なる外來思想」一讀を奉遂し、左に愚見を述べ御參考に供す、御採擇下され候はゞ幸甚

山崎闇齋を加へたし、闇齋をして日本の國體に合せしむる工夫を附したるは山崎闇齋なり、故に維新以前に出でたる勤王家は大抵其の學統の人なり、例へば竹內式部は闇齋の門人にして、山縣大貳は若林強齋の門人

梅田雲濱は 淺見絅齋の學統に出で、武家は強齋の門人

山崎闇齋の父淨水も闇齋の學統より出でしなり

徂徠の「東夷物茂卿」云々は、平田篤胤の攻撃にて世に知られたれど、實に寃罪なり、平田が攻撃したる根本は文字を讀み誤りしなり、其說は平田の說に曰く徂徠が孔子像讚に「東夷物茂卿」と署したりとあり、されど孔子贊の題識には左の如くあり

大日本國夷人物茂卿拜手稽首敬題こゝに用ひし「夷人」の二字は「夷狄」の夷に非ず「平夷」の夷にして、夷人とは「平民」の義なり、若し

東夷の意味 ならば大日本國とは書かぬ筈なり

徂徠は詩文に衒めかす事が好きな癖はあれど、極めて國體を重んずる論者にして、古代に「入唐使」と書きたりしを嫌り、入の字は大國の入にて、屬國が上國に使を遣るに用ゆる文字なるが故に、對等國たる我日本にて入唐といふは、古の博士の無學に坐すとて痛く罵りしは、其の著「南留別志」にあり、又大明律の國字解を著す時にも、特に大の字を削りて明律國字解と爲せし類、その主張の一端を窺ふべし

事實の誤りを以て古人を罪するはよろしからず、御參考被下べく所謂武士道の鼓吹者は闇齋を第一となす

追つて小生の家は代々山崎派の學統に屬し、徂徠派とは正反對なれど其の短所は匿せざるを得ず

犬養　毅

有田音松殿

犬養氏の書狀に對し
予の物徂徠觀

予が卑見の一端を公表するや大阪毎日新聞の記事に關しては「日本及日本人」(第七百八十五號大正九年六月十五日發行)の紙上に於て永田新豐氏の署名にて大に徂徠を推奨し、即ち犬養木堂氏は予の徂徠觀に反し、種々の駁論を送られた。予は犬養氏の高教を謝すると共に予の所念を公にし再び天下識者の高教を仰がんとするのである。

彼の物徂徠は孔子の贊に、日本國

夷人物茂卿と

署名した、夷人とは犬養氏の高教の如く平民と解釋するにしても徂徠は嘗て天皇を稱して共主と書いてゐるのは不敬である、元來共主といふ文字は戰國策から出た語で王室衰へた時の稱呼である、換言すれば、戰國の共主は推戴ではない、これは疑ひもなく、幕府を奉戴から出たことで徂徠の大失態である

徂徠の著「南留別志」に「入唐といふことは昔の博士の如何に心得たるものか、日本を夷にしたる言葉なり」とある、又「昔の博士共が大唐と書きたるは年號を立てたるに習せぬ事なり」と書いてある、之のみを見れば物徂徠は一廉の愛國者で、實に大和魂の權化である。然れどもその著太平策に「禮樂を大明に作つたのは「南留別志」の書に似合はぬことである、又徂徠の中に神功以後、吾邦世受中國封爵、國史皆不載、此余入故與國譯之、宋・免・珍・濟・興・武、開國何不朝貢可乎といへるは我國を夷狄にしたものである

徂徠は竟に

失態の罪を遁るゝことが出來ないのである。この見地から推したならば夷人の夷を平夷の夷であるとは受取り難いではないか

徂徠の高弟太宰春臺が、一天萬乘の天皇を山城天皇と稱し奉つたのは不敬最も甚だしいもので、ある種の幕府の徒にしてこんな失態の多いのは徂徠が範を作つた罪である徂徠と春臺とが

赤穗四十六士

を賊徒だと罵つたのは儒敎カブレの猿轡ではあるまいか、彼等の說旨は「赤穗侯淺野長矩は小刀によりて吉良義央を刄傷し、殿中を騷がし、そして死を命ぜられたのである、即ち淺野を殺したのは德川幕府である、然るに赤穗の浪士大石良雄は方角違ひの吉良義央を仇とした、仇とすべからざるを仇として殺した四十六人は賊徒であつて義士ではない、良雄等若し眞に義を愿ふならば

赤穗城明け渡

しの際、一戰し刀折れ矢盡き腹して後に一死以て君恩に報ゆべきである」と之は國の法律を無視した暴論で一顧の價だも無い、淺野長矩が殿中を騷がしたのは、事の理非如何に拘らず、國法に照して處罰さるべきものであるから、赤穗義士は決して幕府を怨まない、只憎むべきは事件を惹起せしめた吉良義央である、吉良の首を刎ねて主君の怨みを晴らさうとしたのが赤穗義士の本領で、それが實に武士道の精華といふべきである

徂徠は吉良義央を殺したのは山鹿流の兵法であると斷じ、春臺は「良雄等は既に吉良義央の首級を亡君の墓前に供へた、既に年來の目的を遂したならば團獄が切つて自殺せねばならぬ、然るにおめおめと囚はれの身となつて萬一を僥倖せんとした、若し覺悟がその眞を容したならば

他藩の譏を

食み百年の後までも武士の恥をさらさうと謀つてゐたのである、誠に言語道斷の暴論だ」と痛罵してゐる、大石良雄等の眞しき心事を解し得ないで徒らに命を惜む腐れ武士の如くに付度せし暴論の心事こそ言語道斷の至りである、良雄等四十六士は吉良の首を主君の墓前に供へて、積年の怨みを報じたのである、心にかゝる雲もなし、最早現世に生き長らへる必要もないのである、併し主君の仇を報じたとはいへ、將軍家の膝下を騷がせた罪がある、國法の定むる所に依つて、後ろに獄吏の下るのを待つといふのが、彼等の赤誠であつた、一點非難すべくもない彼等の心事忠節

義烈は炳乎

として日月と光を爭ふものであつた

西洋の倫理學では自殺を罪惡としてゐる、我國法も亦之を禁じてゐる併し時と場合に依りて自殺はまた日本魂の精華を發揮してゐるものである、例せば明治大帝の崩御に際し乃木大將夫妻の殉死が日本武士の典型として七千萬同胞が如何ばかり感激の心を深げたかこの時に溢り西洋の倫理思想に拘泥したる淺薄者の輩は一方でなかつた就中帝大教授谷本博士は乃木大將の自殺を罪惡なりとして極しき意見を發表したが爲め、國民の輿論に逆らつて、彼は遂に辭職を餘儀なくさせられたのである。赤穗義士を賊徒と罵るのは、乃木大將を犬死だと嘲るやうなものである武士道の鼓吹者たる犬養木堂氏は乃木大將の殉死に對して如何に感想せらるゝや、將又赤穗四十六士に對する徂徠一派の批判に對して如何なる意見を有せらるゝや更に進んで大方諸賢の高教を待つのである。(大正九年稿)

そこで話は本論に戻るが、全國五十歳より廿五歳の者に選擧權を與へよといふのである

所が今日迄の制限選擧ですら、立派に行はれない、之に選擧人が權利のみを知つて、義務を知らない結果である

現今の

政界の腐敗

思想の惡化も之に胚胎したのである

權利のみを主張するといふ事は極めて危險な事であつて、若し選擧人が、この與へられたる權利に對する義務即ち己の良心を發して國家有爲の人物を選擧しなければならぬといふ義務を閑却したならば、何うか

現在は實にその義務忘却時代でないか、其の義務觀念のない權利を無暗に擴張しようとするのが普選論である

元來この普選などゝいふものは歐米の模倣選擧であつて、固より我國體に符合しないのみならず、かやうなものが實施されたならば我國體を破壞するに至るのである

斯る危險な組織に立つ普選論が、我政治の

青年や勞働者

を何時までも欺き得ないのは理の當然である

此の普選論なるものが、一派の新人連に從つて唱へられたる最初は、大學生を始め、勞働運動も之に共鳴して、大示威運動までしたものであるが

段々その正體が暴露されて來たので、最早彼等は普選論に愛想をつかし、今や一顧も與へないといふ結果である

それから新聞紙が頻りに普選論を唱へるのも、實は現時の腐敗せる政界を救濟するには、之に依るより他に方法が無いといふ、窮餘の一策と見る可きであつて

現在の選擧制

が完全に行はれたとしたならば恐らくかやうな愚論は吐くまいと思はるゝのである

最早今日となつては大學生を始め、勞働運動家も、文藝家も普選運動に熱中する愚を知つてゐる、やうになつたのである

然らば何を基礎として、普選が實施であるといふのか、痛んで論議することが出來んでないか

今日の青年や勞働者には、かゝる愚論に誑はされて、我日本人たる本分を忘却するやうな者はない筈である

天下の大勢が既に我の誠を祈願であるにも拘らず、山本が、犬養や、後藤に担まれて普選案を持ち出すといふのは實にも矛盾とした者といはれても、新設の罪はあるまいが、併しこれが議會に提出された際で、所詮は否決の運命を見るに極まつてゐる

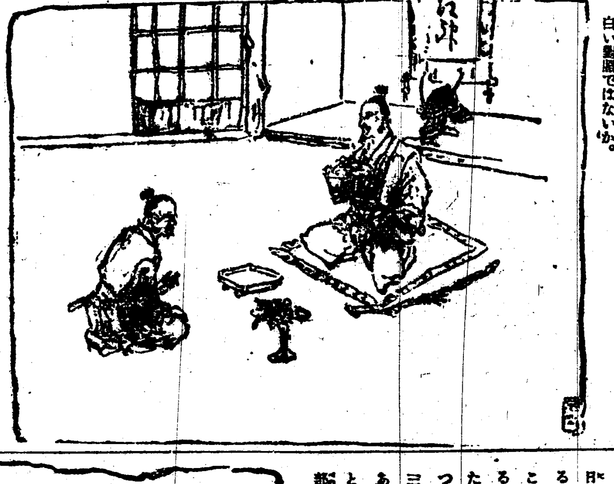
木堂五萬圓で黨員と爭ふ

木堂が嘗て國民黨總理であつた時、某々なる者が、一封金五萬圓を進呈した、之は無論黨費として獻上したものである

それを何ぞや、犬養は、黨費に非ず、自分個人への贈り物であるといつて、頻りで懷中へねぢこんだ、之を不當として、黨員の某々有力家が、抗議を申込んだ結果、幾兵沙汰とまでなり、遂に彼等は憤慨して犬養の許を去つた、何と見上げた深謀ではないか

それが今度は乾兒を鐵手りにして、新聞におさまり返つて、現時にありつかうといふ魂膽らしい

嗚呼、鮭延越前は生涯家來と終始し、死して祀られた、何と面白い對照ではないか。



鮭延越前は家來と終始した

士は己を知る者の爲に死す、この點に於て鮭延越前などは實に立派な士であつた、越前は最上義光の臣で、祿一萬五千石を食んでゐたが、頗る淸廉潔白な人で、自己は少しも奢ることなく、家臣を愛して財寶なども惜む色なく分け與へた、で、家臣等も深くその德に感じてゐたのである、後年最上氏亡び、越前も所々を漂浪する身になつたが、平生の恩顧に感じたる家臣二十人は何處までも從いて往くといふ、越前之を辭るもしくは思ふたが「さて自身の生活にさへ困る身である、二十人の家來を扶持するなどは思も寄らぬこと、然し一緒に歩いて苦勞するよりも、然るべき主人を探して奉公せよ」といひ聞かせた、家臣等は肯入るゝ氣色もなく「臣等二十人で必ず主人を養ひ奉らう」と決心は頗る堅い、そこで越前は此等の二十人を率ひて隱遁者を裝つた、その後越前は土井利勝に仕へて五千石を與へられたが、越前は之を二十人の家臣に配ち與へ、自分は一石だも身につけず食もなく家もなく金もなく只漂然と二十人の家をそれからそれへと訪ねまはりて暮してゐた、家臣の方も二十日宛に一日だけ舊主を養ふことになり、そして一人宛二百五十石を受くるので豐かな暮しをするやうになつた、かくて家臣の榮えるのを樂んで、越前は遂に身を終つた、今も殘る下總古河城下の鮭延寺、それは二十人の家臣が舊主をまつつた記念の寺院を弔ふた記念物である。

仲麿は其身の日本人たるを忘れた

阿部仲麿は靈龜二年、年十六にして遣唐留學生となつた、天性聰敏にして大に書を讀んだものであるが、支那の風を慕ひ、その極、遂に支那カブレとなり、唐の玄宗皇帝に仕へてその臣となり、姓名さへも朝衡又は晁衡と改めて、全くの支那人式になり澄ました、流石に玄宗も之を憐愍した結果、仲麿は歸國して祕書監となり(唐時代の中に右補闕王維が祕書晁監の日本に歸るを送るといふ詩を作いたその晁監が即ち仲麿の事である)異國の君主から手厚き恩遇を受け、仲麿自身も日本人であることを忘れたかのやうに意氣揚々として、唐朝に勤仕したのである、無論五十年間の支那生活中一度は歸朝せんと企てた事もあつたが、海上暴風の爲に安南へ吹流され、それからまた支那へ舞戻つて、今度は北海郡開國公といふ爵位に叙せられた、そして食邑三千戸を給はり、大曆五年(日本では寶龜元年)支那で死んだのである、光祿大夫右散騎常侍兼御史中丞北海郡開國公贈潞州大都督といふ長い肩書を貰つて、異國の粟を食み、異國に臣を稱した阿部仲麿といふ男はかうした支那カブレの元祖であつた。

犬養正三位は唐天竺に去れ

犬養正三位は「日本の家族制度は婦人解放だ」と放言した、彼は假して、我國の歷史を知つてゐるのであらうか、彼は若くして三國誌に遊んだといふ、羅漢翁は嘗て「日本のやうな狹隘な國は、米國の屬國となつた方が結構である」と放言した人だ、又德公の出死を無視の首飾りと同一視した人だ、その衣鉢を受けた犬養としては、なるほど我國の歷史を知らず、我國體を無視するのも無理はない、彼は今や遞信大臣として、通信機關の復舊よりも、普選の方が大事だと大口を叩く、彼の如きは寧しく要路を譲へて唐本を去り、唐天竺へでも往つて、阿部仲麿でも氣取つたら好からう

安東領事館昇格……省長任期規定……

京城日報

（朝夕刊合せて十頁）

本紙 一部 金三錢 一ケ月 金八十錢 ▲三ケ月 金二圓三十錢 ▲六ケ月 金四圓六十錢 ▲一ケ年 金九圓 郵稅共前金
廣告料 五號活字一行 金一圓五十錢 ▲同特別 ▲四號活字 ▲二號 ▲一號
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話光化門 振替京城三〇〇番

朝鮮最古の木造建築（一）

關野貞氏語る

朝鮮は、漢の時代に、既に平壤に樂浪郡があつて、漢民族が盛んに此の朝鮮半島に來たことがあります。さうして漢時代の文化を、平壤を中心として輸入しました。既には、相當立派な建築物なども出來たのでありますが、併し其當時の建築で、今日遺存して居るのは一つもないのでありまして、唯、其當時の城趾である平壤を中心とする古墳の數は少くないのであります。夫等の古墳より發掘せらるゝものゝ中から、隨分立派な工藝品が現れて來るのであります。其時代の建築としては古墳の外には一つも遺存して居りません。又三國時代に於ては、支那の六朝の末期に於ては、佛教と共に、種々なる佛教建築を輸入して、相當立派なものも出來、又建築も發達しましたけれども、木造建築で遺つて居るものは一つもないのであります。是までの調査では未だ見付かりませんし、又將來も到底發見することが出來まいと考へられて居つたのであります。慶州の芬皇寺の塔婆や又は慶州に在る瞻星臺などは三國時代の末期に屬するもので、支那の南北朝の形式が傳へられて居りますけれども、併し木造建築は一つもないのであります。

所が日本に於ては御承知の通り法隆寺の金堂、五重塔、法輪寺、法起寺などは、今日に無事に遺つて居るのでありまして、之は百濟から輸入された樣式で、純然たる百濟式と言つても宜しいのであります。夫で三國時代の末期の南北時代の影響を受けた建築物は日本には多少遺つて居りますけれども朝鮮にはありません。日本に在る法隆寺、法起寺、當時の建築の遺つて居るものに依つて其變遷の程度を知ることが出來るのです。既いて新羅朝の時代に於ては、支那では唐が最も發達をしました唐の建築の樣式を輸入しまして、慶州を中心として朝鮮各道に亘つて隨分立派な大伽藍が澤山出來まして、そして最も多く宮殿の建築が建されたのであります。そして當時の建築で遺つて居るものは、石造には多少あります。卽ち石の塔又は浮屠詣り坊さんの墓です。さう云ふものは今日多少遺つて居ります。殊に其の中でも佛國寺の多寶塔又は華嚴寺の舍利塔は、最も優秀なものであります。其時代のもので遺つて居るのは、石造建築もあり、又煉瓦建築もあるのでありますが、併しながら木造建築は一つも遺つて居りません、日本は恰度奈良朝時代に相當します……日本平安朝時代に相當しますが、日本には當時の建築は割合に遺つて居ります。夫れに依つてざつと三十許りありまして、當時の建築樣式……建築發達の程度を知ることが出來ますけれども、朝鮮では、不幸にして新羅時代の木造建築は一つも遺つて居らないのです。若しも之は斷言は出來ませんが、支那に於ても南北朝……唐時代の木造建築は一つもないので、日本に遺つて居るのは實に不思議と言つて宜しいのであります。夫れから其次の高麗時代、日本では藤原時代、鎌倉時代に相當するのですが、日本には其當時の藤原時代、鎌倉時代の木造建築は殆ど其數三百程あるのです。然るに朝鮮では高麗時代の建築で遺存するものは、極めて稀なのであります。

南米と日本移民（下）

ブラジル公使　堀口九萬一

現在日本の移民のサンパウロ地方に集中してゐる數が約三萬五千人である。內二千四百家族移民は悉く成功して居るもので一戶當り十町歩以上の田畑を所有して居るから立派な地主であり資本家である。彼等は今より十年前に僅に一貫で渡航したものであるが、當初は一年間は非常な艱難を辛抱したもので指揮監督の苦しみをなめたものであるが、同國政府の便宜を受け資本主より半年分の生活費耕作を借り受け始めに珈琲畑や砂糖、米などを耕作し始めたのである。一ケ年目には漸く生活し得る位の收穫がある二ケ年目からは一家族働けば二三百圓くらゐの貯蓄は易々たるものである。それに土地は極めて低廉であつて、日本內地で一町歩を買ひ入れる丈けの資本があればブラジルは五六町歩ぐらゐは優に手に入れることができる。故に二年三年と經過するうちに少しづゝの耕地が自分所有として殖えて行く樂しみがある。そして農業を經營する傍らに於いて農家の副業としてどんな仕事でも資本が入らずにできる。つまり飼ひをするにしても別に飼ひの設備もいらず野原に放飼してあれば種々な自然の餌を食つて生育して行くからただ家の周圍に鷄舍丈けを造つてやればよい。豚を飼ふにしてもその通りで、飼料の爲めに困るやうなことはない。近來斯樣な酪農は非常に盛んで立派な成功を遂げてゐるものも尠くない。牧畜物や其他の生產品を賣る場合には仲買人のやうなものがあつて豐富な資金を以て何んでも買ひ入れる。言語が通ぜぬために心配することは更にない。日本人同志が互に取引しても行けるし又彼地に半年や一年位住んでゐるうちに自由に外人等と話すことができるやうになるからこんな心配は要らぬ。殊に婦人子供などは最も速かに外國語を覺えてしまふ。ブラジル國の面積は日本を十五倍にした程の廣さであつて現在の總人口は三千萬人位しかないから國內では極めて人口稀薄である。故に同國政府では外國から移民を聘集する方法をとつて居るが、それでもまだ〳〵不足である。今後三千萬や五千萬位が増加しても決して人口過剩を訴へるやうなことはない。目下勞働者の不足を告げてゐる數は七八萬人であつて之が補充を圖るのに政府は金を遣つていろ〳〵な獎勵法を講じて居るがなか〳〵補充ができない。外國移民中日本人は最も評判が良いと云ふわけは日本人は仕事に服從して働くからである。近年ブラジルに米の生產が增加するやうになつたのは、一に日本移民の功績によるのである。他の外國移民などは珈琲や砂糖栽培より外に能がないが、日本移民は米や大豆や果實蔬菜なども手まめに自用に栽培するから耕主等は日本の家族移民を歡迎するわけである。

正貨拂下漸增と輸入防止の一端

我國對外貿易の逆調は震災以來愈々甚しく其の補塡につきたる正貨拂下の總額は增加に從つても尙償はれるに由がない。卽ち一月以降十月末までの入超額は既に四億六千九百萬圓に達したるがこれに十一月上旬に於ける四港の入超額六百十二萬圓を加へて一月以降十一月十日までの入超總額約四億七千五百萬圓を算するに至つたのであるかくの如き狀態なるを以て我政府當局は依然として資金の補塡を訴へ輸入手形決濟のために在外正貨の拂ひ下を受けざるべからざる狀態に置かれ震災後既に總額八千萬圓以上の拂ひ下を受けてゐる。しかしてその拂ひ下手續きがさほど簡單なものでないので各當業者銀行は出來得る限り市場にて輸出手形を買入れんと試みてゐるが如何せん當物はとんど絕無にてその意を達する能はずやむなく纏つた正貨の拂ひ下げを請ひ續けてゐる。自然拂ひ下高は本年末までに最少限度に見るも尙二千萬圓を下らないであらうから震災後の拂ひ下總計一億圓を突破するを免れ得ないところであると觀測されてゐる。然るに在外正貨の拂下價格は正金銀行の對米爲替建て値の四十九ドルを標準として居るが同行の輸入信用狀發行には矢張り四十九ドルを仕切り相場とするためその資金に對する金利と信用狀の發行と手形期限の到達までに約半ヶ年にわたる間のフラクチュエーションの危險をも負擔することゝなり同行としても卽ち採算上有利とはいへないその結果正金は既に對米爲替の發行を拒絕する的態度に出で建てに止めいよ〳〵信用狀決定の際にはニウヨーク市場のレートを取り現在ならば四十八ドル八分の七なる相場次第それ以下にても仕切ることに決定した次第である、かくて米貨輸入はこの點について輸入業者に取り從來よりも不便となるのであるが正金の意向がすこぶる强硬なる他の一面日銀當局も現狀に見て避くべからざるとするのみか寧ろ建てにはむしろ賛成の態度を表明してゐる、而して見方によりては正貨拂ひ下の緩和に鑑みたる當局が輸入防止策の一端としてこれを容認したものとも思はれる、たゞこれに依りて果してよく上述正貨拂ひ下の勢ひを阻止し得るや復興計畫の前途をも省みてなほ多少の疑問の餘地あるものゝ如くである

碧梧桐氏講演會

日時　十八日午後一時より
場所　南山町美術俱樂部
演題　「藝術の變遷と俳句」
入場無料　多數の來聽を歡迎す

主催　朝鮮新聞社　京城日々新聞社　京城日報社

スフヰンクスの下に立ちて（四）

守屋榮夫

スエズの曉色

あくれば二十五日の拂曉午前四時少し過ぎであつた。けたゝましく汽笛が鳴り、錨をおろすチエンの音が耳をかすめたと思ふ間もなく、船はピタリ進行を止めて動かなくなつた。もうスエズに着いたのである。早速洋服に着換へてデツキの上に出て見る、何處やらまるで方角がわからない。船の右舷にあたりで螢火の如く明滅する燈のあたりがスエズの町であらうか！船の左舷にかけて連綿であらうか暗黑たる中に聳えて見ゆるものがある空は限りなく澄んで、またゝく星の數をよむことが出來其下に橫はる海はまだ深き眠りよりさめず一波も動かぬ靜けさに居つた何たる嚴肅さ何たる神秘であらう？余は暫時たゝずむ外はなかつた。すると模糊たる薄暗の裡に此大自然の默示に對する船の寂を破つて一聲の笛が見えて、暗黑の黑い影が見え、ついで其後につゞく白い線が見え出した。吾等を迎ふる船はないか、檢疫で相當受けて來た結果一切疾病の疑惑を見るために手を見て居ると、さはなくて旅客官吏の乘つた船であつた。船員の案內で一等船室のスモーキングルームに上つて間もなくパスポートの檢印や一覽などがあつた。從來はスエズでは上陸のことが頗る簡單であつた。かうした事なども餘り勵行されてなかつた。然るに埃及が英國の手を離れ獨立を宣言してから所謂獨立國の體面を維持しやうといふのであらうか、鼻息が荒くなつて、下らない手續が面倒になつたと船員が語つた。カイロ行きの吾等は檢閱がすむとすぐ上陸が出來る事と思つて居つたら、中々どうして、港務部の許可證が來るまでは出來ぬといふ獸々子と地團太は踏まれない不平たら〳〵ソハーに腰を下して待つ外はなかつた。こんなことをして居る間に時間はズン〳〵經つて、東も明りからさめてほゝみ渡り、いつか東方は白むが如き色が見えだした。

……數中の濃失と判明したので……あるので……が……近……として……の下に行はれた式は內ケ崎作三郞博士司會……祭壇には無數の花環……で式を終つたのは正午近く故人の遺骸は永へに靑山の墓地に眠りに……と記載し……石里……消防隊に購入……であると、……橋に轢死體……十五日……知らず一列車が通過したから……間があるものと……を通行中……府內……士の事務員をしてゐるもので……

富山房復興第一回發行圖書

服部・小柳兩博士著【二百四十八版】詳解漢和大字典　定價參圓八拾錢 郵稅卅四錢
上田文學博士著【増補三十三版】ローマ字で引く國語辭典　定價貳圓 郵稅拾錢
芳賀博士・杉谷代水著【十五版】縮刷作文講話及文範　定價貳円七拾錢 郵稅拾八錢
芳賀博士・杉谷代水著【四十版】縮刷書翰文講話及文範　定價貳円六拾錢 郵稅拾八錢
小川理學博士著　模範改造世界大地圖　定價廿五円 郵稅實費
武田太郎吉著 全二冊　家庭實用武田裁縫書　定價(上)參円七拾錢(下)參円九拾錢 郵稅各拾貳錢
杉谷・中島・長田・平田・楠山諸氏執筆　模範家庭文庫　定價各參円八拾錢 郵稅各貳拾四錢
ガリバー旅行記　グリム御伽噺　アラビヤンナイト上下　イソツプ物語　ロビンソン漂流記　世界童話宝玉集

丸之內ビルデイング賣店　東京驛賣店　は孰れも無事、各種の書籍雜誌を取揃へてありますからお立よりを願ひます。

著者	書名	定價	郵稅
平沢金之助	中學生の黄金生活	二,〇〇	〇,一二
早川徳次	大英国の表裏	〇,八〇	〇,〇八
田中法學博士・ヘツトナー原著	大英国の覇業難	一,〇〇	〇,〇八
桑木豐吉訳・キーレン原著	歐洲戰爭と民族主義	〇,八〇	〇,〇八
侯爵大隈重信	續經世論	一,〇〇	〇,一二
芳賀文學博士	考證今昔物語集(天竺震旦部)	三,〇〇	〇,一四
五來欣造	社會革命の將來	二,〇〇	〇,〇八
三好理學博士	歐米植物觀察	一,八〇	〇,一八
同	天然記念物	一,一〇	〇,一八
大幸理學博士	水及塩系の多相平衡	三,〇〇	〇,一二
島田慶一	化學工業講話	一,六〇	〇,一二
長岡理學博士・桑木理學士訳	ローレンツ物理学 上下	四,〇〇 各	〇,一八
谷津・大地原訳・クランプトン原著	進化原論	一,五〇	〇,一八
高田徳佐	理化學常數表	〇,五〇	〇,〇四
小野信維	瓦斯タービン	一,四〇	〇,一二
東京高工教官十六氏	国民教育工業講話	三,〇〇	〇,一八
田中法學博士	ドーソン蒙古史	一,七五	〇,一八
藤井・北共訳・ロージャース原著	西洋哲學史	三,五〇	〇,一八
西田宏訳・フオルケルト原著	藝術と民育	一,二〇	〇,一二
吉田文學博士	教育の米国	一,五〇	〇,〇八
田中元三郎	口訳論語詳解	三,五〇	〇,一八
島崎昭	家庭小兒科醫典	三,五〇	〇,一八
阪谷法學博士	東京市民讀本	〇,六五	〇,一二

【振替名古屋一〇三九五】東京小石川區林町七〇番地　合資會社 富山房

少女畫報

一人舞臺の花形　雜誌十一月號出來

表紙は美しい紅薔薇の裝ひ：口繪は人氣畫家蕗谷虹兒先生の「秋の唄」と井伊梅子女史の「地に落ちた星」とは大傑作揃ひです、そして寫眞畫報は他の雜誌では見ることの出來ない寫眞や小說だの女學校だのの少女の心を躍らす面白いものばかりが充ちてゐます。

訓話と講話
▲簡易生活の習慣を作れ…中村博士
▲地震と建物のお話…
▲少女に大切な常識…藤沼學士
▲濃尾の地震と名古屋城…

滑稽物語
■鼻の問題…田澤秀稻
■十錢白銅…勝田稻花
■紅葉狩り…藪野椋十
■春子草紙…雀部忠
■震子さんの大得意…孝生

詩と歌
▲少女の胸を慰める…
▲殘つたもの…竹久夢二
▲風の夜…達山陽子
▲秋の海…背島俊吉
▲日曜の日…加藤まさを
▲燒跡…水谷まさる
▲子守唄…下田惟直

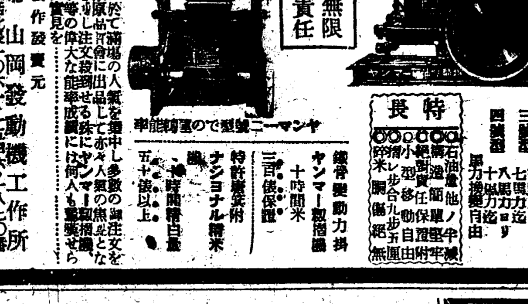
童話と小說
■ヘリオトロープ…吉屋信子
■慰問ぶくろ…加藤まさを
■あの日の指環…松原至大
■京人形…上司小劍
■白い牝鷄…酒井朝彥
■高峰妙子さん…高倉紅夢
其他物語 新作小品寫話等が沢山揭げ切れない程澤山揭載してあります

定價五十錢 郵稅一錢五厘 半年分三圓 各書店にあり 直接は此際送料注文の事
東京京橋區疊町壹番地　東京社

冬の運動と高級スケートの御用意は
123番 ドレミ
製品 國產 1號 4.50 2號 5.00　米國製 1號 5.50 2號 5.80
カタログ無代進呈
小包料金一足に付金四十錢
京城鍾路大通り（鍾路警察署前）米國貿易輸入元　セヤマ樂器店
電話光化門一二三番 振替京城一〇七五六番 私書函京城局四八

寫眞材料ニ關スル事は　須賀商會京城支店

CH現像液
溫雅にしてシカモ趣味深き寫眞及原板を得むには尤も善良なる藥品を撰ばざるべからず本品の主藥は一般の追隨を許さざる理想的最も高價藥なるグリシンあるを以て好評嘖々實に同種類中の權威なり故に初心の方も容易に優美に仕上得らる是非直ぐ本品の御使用を推奬す
發賣元 寫眞材料直輸入商 吉田由二郎商店 神戶市三宮町壹丁目
釜山本町壹丁目 岩瀨寫眞機店
京城本町 大澤商會支店
仁川宮町 澁川寫眞機店
京城本町三丁目 ウホリ商會
平壤大和町 中村寫眞材料店



朝鮮總督府獎勵指定品
主催 水原郡　會場 水原郡廳內　會期 自十一月十五日至十一月廿一日
水原外八郡聯合品評會と　ヤンマー發動機及籾摺機
無限責任　故障御損
ヤンマー二號型での運轉能率
◎本機各二馬力より　二號型 六馬力迄　三號型 七馬力迄　四號型 八馬力乃至十馬力
特長 ◎石油其他ノ燃料 ◎構造簡單堅牢 ◎絕對責任保證附 ◎小型移動自由 ◎精米籾摺レ歩合九歩五厘 ◎砕米胴割絕無
鑄骨發動力掛 ヤンマー籾摺機 十時間米三百俵保證
特許專賣附 ナショナル精米機 十時間精白量五十俵以上
▲京城副業品共進會に於て滿場の人氣を集中し多數の御注文を受けたる本機は今回水原品評會に出品して亦々人氣の焦點となり湧くが如き大好評を博し注文殺到せる殊にヤンマー籾摺機、精米機、ポンプ等の偉大なる能率成績には何人も驚嘆せらるゝ是非共御來場御實見を……
無限責任製作發賣元 大阪市(梅田)東北 山岡發動機工作所 電話北長一〇六・一一五四・一八七〇番
型錄進呈 東京支店 九州支店
特約店 京城府黃金町二丁目二〇番地 漢城社京城支店

三坪百羽養鷄講義
前中央家禽會講師野本、坪野の兩氏が實驗成功せる秘訣を公開して養鷄界の大驚異となれる物也小規模より大飼育に至るまで苟も本會獨特の養鷄法に依れば必ず成功すハガキで申込ば見本進呈
長野縣南安曇郡明盛村 日本家禽改良會

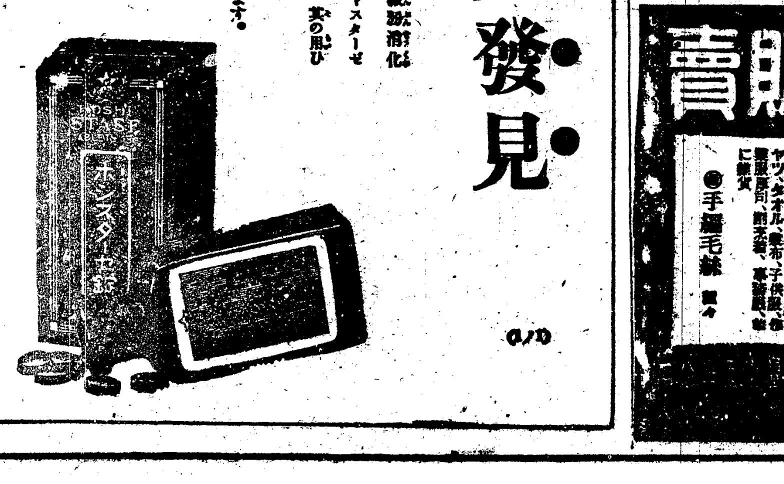
自宅で出來る仕事
遠近男女不問手輕く出來る專賣品の加工年中無休道具貸與品永久買受說明書見本無代呈●特約
大阪九條中通四 電話西二一七七 友榮商會

松 丸松の通信販賣
古今未曾有の大震災に際して罹災者諸君に深甚なる同情を表すると共に出來得る限りの便宜を計り……
本社は物價暴騰の魁先鋒として先年來製造直賣を實行せるところ非常なる賛同を得て日增月步の勢を以て發展を增加いたしました此機會に際し益々多數商品を行ひ多年の御好意に報いんと存じます
卸部 相當値引　小賣 カタログ進呈
ヒーロー靴下、メリヤスシヤツ、オーバー、スエター、ワイシヤツ、タオル、毛布、子供服、洋服地、背広、事務服、其に雜貨
●手編毛絲
大阪 丸松通販部

贈呈　一、銃獵の趣味
■ポケツト型■百四十頁■
一、趣味と修養二、銃器三、彈藥四、射擊五、出獵六、服裝附屬品七、獵犬八、參考記事滿載
讀者に　郵券五錢御送付あれ 全一册無代贈呈仕候
合資會社 京城日報社代理部

世界的大發見

一 ホシスターゼ錠は、旺盛なる蛋白及び澱粉消化を營む生きた微生物であります。（ヂヤスターゼの澱粉消化は、エンチーム（酵素）の作用にして、其の用ひただけしか働きません）
二 ホシスターゼ錠の消化力は長く續きます。
三 そして腸內食物を徹底的に消化いたします。
四 七日乃至十日間腸內にあつて働くのであります。
五 腸の惡い人お服みなさい、便通不整の人お用ひなさい。
六 本劑の發見は消化力の革命を齎せるものにして、學界に貢獻する所多大であります。



ホシスターゼ錠
定價 小 五十錢 大 一圓
東京大崎 星製藥株式會社